

第二十六回帝國議會
衆議院

關稅定率法改正法律案委員會會議錄(速記)第八回

會議

明治四十三年二月十九日午前十時三十九分開議

出席委員左ノ如シ

野田 卯太郎君	紫垣 一雄君	淺羽 靖君
石田 孝吉君	千早 正次郎君	綾部 惣兵衛君
藤井 善助君	早速 整爾君	大久保弁太郎君
水間 此農夫君	太田 清藏君	武藤 金吉君
石橋 爲之助君	森田 勇次郎君	高橋 光威君
山本 悌二郎君	築山 和一君	鵜澤 總明君
秋岡 義一君	千田 軍之助君	山田 又七君
箕浦 勝八君	村上 先君	川真田德三郎君
川村 曄君	鷺田 土三郎君	田中 龜之助君
長島 鷺太郎君	小川 平吉君	翠川 鐵三君

出席政府委員左ノ如シ

外務次官 石井菊次郎君	外務省通商局長 萩原 守一君
大藏省關稅局長 櫻井鐵太郎君	大藏書記官 野中 清君
農商務省商務局長 大久保利武君	農商務省農務局長 下岡 忠治君
農商務省參事官 岡 實君	

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

大藏技師 矢部規矩治君	大藏技師 早川 繁雄君
大藏技師 阪口武之助君	農商務技師 伊藤 悌藏君
農商務技師 大山清一郎君	農商務技師 莊司市太郎君

關稅定率法改正法律案

○委員長 野田卯太郎君) 開會致シマス、チヨット政府委員ノ 説明ヲ聞キマス——

昨日ノ續キ第八類全部ニ付テ御質問アラシコトヲ希望致シマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 第八類ノ大體ヲ説明致シマス、第八類ハ現行ノ分類ト大體同ジデアリマス、茲ニ第八類ノトコロニ説明ガ書イテアリマスガ是ハ今マデナカッタモノデアリマス、即チ二種以上ノ纖維デ出來テ居ル絲デスナ、此絲ノ内一方ノ種類ノ絲ガ全重量ノ百分ノ五即チ五分デスナ、五分ヨリ以下位ノ僅ナ纖維ガ入ッテ居テモソレハ入ッテ居ラヌモノト看做スト云フノデス、僅カバカリノ違フ種類ノモノガ入ッテ居テモ、ソレハ二色ノ纖維デ出來テ居ルモノト見ナイ、百分ノ五以下ノモノハ分類上ナイモノト見デアルト云フ説明デアリマス、是ハ此中ニ含メテアリマス、是ハ絲類ニハ往々見ルコトデアリマシテ、課稅ノ便宜上斯ウ云フ風ニ極メテ置クノガ宜カラウ、但シ絹ト人造絹トハ別デアル、絹ト人造絹ノ纖維ハ百分ノ五以下ノ僅ノモノガ這入ッテ居ルモノト雖モ、ソレ

ハヤハリ絹ガ這入ッテ居ルモノト見ルト、斯ウ云フコトニ致シテ此稅率表ヲ按排致シマシタ、デ此中ニハイロ／＼アリマスガ、主ナルモノハ一番初メニ出テ居リマスル二百七十二項ノ木綿織系デアリマス、此稅率ハ現行ノ國定ニ於テハ大體二割トナッテ居リマス、ソレヲ今度ノ改正ニハ大體一割ト云フコトニ致スコトニ極メタノデアリマス、即チ國定ニ比ブレバ一割減ズル、併シ是ニハ外國トノ協定ガアリマシテ、唯今デハ八分ノ協定ガ行ハレテ廉イ稅ガ行ハレテ居リマス、故ニ此協定ニ比ブレバ八分カラ一割ノ減ト斯ウ云フコトニナルノデモザイマス、デ綿織系ハ最早私ガ申シマセヌデモ、日本ノ紡績業ハ今日如何ナル狀態デアルカ、印度支那其他ニドウ云フ風ニ輸出サレテ居ルカト云フコトハモウ十分御承知ノコトデアラウト思ヒマス、重ニ外國ニ輸出シテ居ルコトヲ紡績系ト云フノハ此二百七十二ノ綿織系ノ一ノ内ノ、甲ノ「イ」ロ「ハ」ニ「ト」云フヤウナモノハ大分細イ系デアリマスカラ澤山ハ出ナイ、多クハ「イ」ロ「ハ」ニ「ト」云フヤウナモノデス「イ」ノ方カラ段々細クナッテ行クノデスガ、二十四番ヲ超エザルモノハ太イ系デス、此太イ方ノ系ハ今日ノ協定ハ八分ト云フ廉イ稅率デアルニモ拘ハラズ、隨分紡績業ガ盛シニナッテ外國ヘ出テ行クト云フ現象ニナッテ居リマス、故ニ是等ハ織物ノ原料トナリ、特ニ輸出織物トナッテ澤山出ルノデアリマスカラ、斯ウ云フヤウナモノハ今日ノ紡績業ノ現狀カラ見マシテ高イ稅ハ必要トシナイガ、又現今ノ八分ト云フ廉イ稅デモ十分成立シテ行クト云フ狀況ヲ見マシテ、茲ニ一割ト云フ程度ヲ極メマシタ、唯茲ニ「ホ」ニ其他ト云フモノガゴザイマス、是ハ七分五厘トシテ廉クナッテ居リマスガ、是ハ所謂八十番ヲ超エテ居ル細イ系、是ハ今日日本ノ紡績業ハ大分盛シデアリマスルガ、細系ニ至ッテハマダ技術ガ不熟練デアッテ出來ナイノデアリマス、此細系ガ内地ニ入ッテ來テイロ／＼織物ノ原料ニ供スルモノデ、内地デハマダ十分ニ出來ナイノデアルカラ、此細系ハ成ルベク稅ハ重クシナイ方ガ宜イ、稅ヲ輕クシテヤッテ織物ノ都合ノ好イヤウニシテヤッテ宜カラウト云フコトデ、是ハ却テ稅率ガ減ッテ居リマス、率ハ減ッテ居リマスガ百斤デ申セバ値ノ高イモノデアリマスカラ、七分五厘デアルニ拘ハラズ十一圓三十錢ト云フ稅率ガ出マス、其外甲ノ部デ酒サナイモノ酒シタモノ、ソレカラ丙ノ部ニ行キマシテ「其ノ他」ト云フ中ニハ染メタモノガ入ルノデアリマス、酒シタモノハ絹物ハ更ニ稅ヲ掛ケル、又染メタモノニハ更ニ重イ稅ヲ掛ケルト、斯ウ云フ風ニシテ權衡ヲ取ッテ居リマス、ツマリ綿系ノ稅率ニ付テモ是マデイロ／＼ノ批評ノアリマシタノハ、細イモノ太イモノ酒シタモノ染メタモノ一律ニ同ジ稅率ヲ掛ケテ居ッタカラ、甚ダ宜クナイト云フコトガ現行ノ關稅率ニ對スル非難デアッタノデアリマス、ソコデ其點ハ大ニ研究ヲ致シマシテ今回ハ斯様ニ細別致シテ、ソレ／＼權衡ヲ取ッテ稅率ヲ按排致シタノデアリマス、木綿系ニ付テハ先ヅソレデケノコトヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ其外亞麻、苧麻「ラミー」大麻、黃麻ト云フヤウナイロ／＼ノモノガアリマスガ、是等ハ特ニ申上ゲルコトモナイト思ヒマス、デ二百八十二ニ羊毛ガ茲ニ入ッテ居リマス、羊毛ハ現行モ無稅デアリマスガ、將來モ亦之ヲ無稅トスルガ相當デアルト認メラレマシタ、ソレカラ毛織系

ニ至リマシテハ是マテ編物用ト織物用ト二色ニ單純ニ分ケテアッタノデゴザイマスガ、併シ是モサウ云フ分方デハ相當デナカラウト云フコトデゴザイマシテ、茲ニ分類ヲ細カク致シマシテ斯ク其糸ノ品質ニ適當スルヤウニ稅率ヲ按排致シマシテ、ソレカラ毛ト綿ト合セマシタ糸モ染メタモノト染メナイモノトノ區分ヲ致シマシテ、ソレカラ茲ニ説明ヲ致シタイハ二百八十七ノ中ノ生絲ト云フ中ノ一ツデアリマス、野蠶絲、柞蠶絲デアリマス、之ハ現行百斤三十一圓ノ稅率ニナツテ居リマスガ、是ハツマリ現行ノ稅率ヲ維持スルガ適當デアルト、斯ウ云フ考デ稅率ヲ動かサナイデ同ジク三十一圓ト致シタデアリマス、此柞蠶絲ノコトハ御承知ノ通り、日本ノ内地デハ長野縣其他ニ多少柞蠶ヲ作ツテ居リマス——柞蠶ヲ飼ツテ居ル處ガアリマスガ、今日デハ此柞蠶絲ノ大部分ハ支那カラ入ッテ居リマス、而シテ此柞蠶絲ガ日本ニ入ッテドウ云フモノニ使ハレルカト申シマス、イロノ織物ニ今日ハ使ハレルコトニナツテ居リマス、サウシテ此織物ニイロノ種類ガアリマスカ、特ニ多ク使ヒマスノハ此天鵝絨織ト云フヤウナ、女ノ肩掛ナドニシテ居リマスモノガ多ク出來マス、ソレカラ羽織ノ紐トカ、又ソレノミナラズ名古屋京都アタリデハ普通ノ織物ノ中ニモ入ッテ使ッテ居リマス帶地、ソレカラ著物ニシマス、普通ノ絹織物ト云フ中ニ使ッテ居リマシテナカノ、此用途ハ廣イデアリマス、此柞蠶絲ノ輸入稅ニ付テハ諸君モ御承知ノ通り、此輸入稅ハ高クスルガ宜シイト云フコトヲ唱ヘル例モアリマスレバ、又ソレト反對ニ柞蠶絲ハ日本ニ於テ生産スルモノハ至ッテ少ナイカラ、サウシテ織物ノ原料トナルモノデアルカラ、サウシテ其外國カラ婦人ノ肩掛ナドト云フモノガ澤山未製品トシテ入ッテ居ルノガ、段々日本ニ出來ルヤウニナツテ、却テ外國ニマデ輸出スルヤウニナツテ居ル、重要ナ織物ノ原料デアルカラ却テ是ハ廉イ稅ガ宜シイト云フ兩方ノ意見ガ出テ居リマス、ソレハ諸君御承知デアリマセウ、併シ兩方ノ意見ヲ能ク吾々ハ開キ研究ヲ致シマシテ、結局現行維持ガ適當デアラウト斯ウ云フコトニ決定ヲ致シマシテ、現行維持ノ相當デアルト云フコトハ養蠶絲柞蠶絲ハ或ル程度ニ於テ、ヤハリ生絲ノ代用ヲナスモノデ場合ニ依テハ絹絲ト云フニ賣レテ居リマス、ソレハ所謂蠶ノ絹絲デナクシテ柞蠶絲ノ絹絲ガ絹絲ト通ツテ居ル、或ル程度マデ生絲ノ代用ヲナス程ノモノデアルカラ、其點モ考ヘナケレバナラヌト云フコトヲ以テ現行ヲ維持スルコトガ相當デアラウト云フコトニ決シマシタノデ、ソレカラ先ヅ主モニ申上ゲルコトハ唯今ノ點ニ止ツテ居リマス

○武藤金吉君 便宜上唯今ノ御説明ニナツタ點カラ政府委員ニ御尋フ致シタイと思ヒマス、此蠶ノ輸入ニ付キマシテハ無稅ニナツテ居リマシテ、眞綿ニハ一割五分ノ現行ニ於キマシテモ改正案ニ於キマシテモ一割五分ヲ掛ケテ居ル、又屑絲織及屑絲及日本デ申シマスト是ハ生皮屑絲ト申スノデアリマスガ、是等ハ無稅ニナツテ居ル、デ繭ハ是ハ支那カラ輸出スル繭ヲ指シテ繭ヲ無稅ニシタモノト思フノデアリマス、同ジク眞綿モ日本ニ輸入サルベキモノハ支那デアアル、又此屑絲生皮等モ支那カラデアアル、殆ド繭、眞綿、屑絲生皮、苧等ハ同一種類ノモノデアッテ、眞綿ダケニ課稅スルノハドウ云フ譯デアルカ之ヲ承リタイ、ソレカラ此柞蠶絲ノ御説明ガアリマシタガ、殆ド生絲ノ代用ヲ爲スモノダト云フ大體ノ御説明デアリマシタガ、私ハ此野蠶絲ハ生絲ノ代用デハナイト思ヒマス、此柞蠶絲ハ生絲以上ノ特色ヲ持ッテ居ルデアッテ、生絲デ出來ベカラザルモノガ内地ニ於テ生産ノ出來ルモノト信ジテ居ルノデアリマス、デ輒近此野蠶絲ヲ原料ト致シマス織物ノ進

歩ハ、政府ノ御調ベニナツタ點ハドノ點マデ進ンデ居ルカ、又輸入ニナリマスル製品ト我國デ製品シマスモノコノ差ハドノ位ニ政府ハ見テ居リマスカ、其政府ノ見ルトコロニ依ッテ課稅ノ方法ト云フモノモ從テ分レテ來ルモノト思フノデアリマス、先以テ此二點ニ付テ御尋フ致シマス、又此八類ニ於テハ澤山アリマスケレドモ、先以テ此二ツニ於テ御尋致シマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 武藤君ノ御問ヒデアリマス繭ハ從來ヨリ無稅ニナツテ居リマシテ、是ハ御説明ノ通り支那地方ヨリ入リマス、四十一年ノ輸入額ガ四十七萬圓入ッテ居リマス、ソコデ眞綿ハ一割五分ト云フ稅ニシマシタノハ御承知ノ通り、繭ハ多ク繭ヲ引イタコロノ後ノ繭カラ、或ハ其種々使ッタコロノ種穀ノ繭ト云フヤウナモノカラ作ルノデアリマスガ、繭トハ違ッテヤハリサウ云フモノヲ人工加ヘテ作ツタモノデアルカラ、繭ヨリモ一段進ンダモノデアルト云フコトデ、稅率ヲ一割五分トシマシテ此輸入ハ殆ド外國カラハアリマセヌ、特ニ近年ハ入ッテ居リマセヌ、ソレカラ屑絲、生皮、苧トカ云フ御尋デアリマスガ、ソレハ無稅トナツテ居ルモノハ繭ヲ絲ニ引イタ、其繭ヲ絲ニ引キマストキニ初メノ中繭ノ外皮カラ出ルトコロノ蠶絲トカ、或ハ絲ヲ引キ終ッテ、モウ段々絲ガ出來タ其シマヒノ方ノモノトカ、サウ云フヤウナモノガ此中ニ入ルノデアリマスガ、是ハ御承知ノ通り絹絲紡績ノ原料ニナルノデアリマス、而シテ是等ハ絹絲紡績ノ原料トナルモノデ、内地ニモ固ヨリ澤山出來マスカラ、ソレト同時ニ、織物ガ澤山出來マスカラ、尙外國ヨリ是等ノモノハ無稅ニシテ入レタ方ガ絹紡績ノ原料ヲ得ルノニ便利デアラウト、斯ウ云フコトデ是ハ無稅トシデアリマス、ソレカラ柞蠶絲ニ付テ私ガ先刻申シマシタ、生絲ノ或ル程度マデ代用スルト申シタノハ、ヤハリ御説明ノ通りニ、互ニ其雙方普通ノ蠶ノ生絲ノ持タナイトコロノ特質ヲ柞蠶ガ持ッテ居ル、又蠶ノ絲ガ持ッテ居ル特質ヲ柞蠶絲ガ持ッテ居ラナイト互ニイロノ特質ガアリマス、私ガ生絲ノ或ル程度マデ代用スルト申シタノハ、織物業者ガ柞蠶絲ヲ入レテ織ツタ絹織物ヲ以テ普通絹織物ト稱シテ居ル、世間ソレヲ以テヤハリ普通ノ絹織物ト思フテ使ッテ居ルノガアル、サウ云フ點ガ相互ニ流用スルト云フコトヲ申シマシタ、勿論柞蠶絲ハイロノ生絲ノ有ッテ居ラス特長ヲ有ッテ居リマス、光澤ガ強イトカ、纖維ガ少シ硬イトカ、ソレカラ其纖維ト纖維ガ摺レ合フテ一種ノ音がスル——ギュー——ト云フ音がスルナラ音ノスルト云フコトガ、ヤハリ物ニ依ッテハ必要デアルト云フヤウナコト御互ニ特長ガアリマス、絕對ニ使用ニ流用スルトハ申シマセヌ、柞蠶絲ハイロノナル製造スルコトノ狀態ハ農商務省ノ政府委員ヨリ御答ガアルデアラウト思ヒマス

○武藤金吉君 序ニ農商務省ノ政府委員ニ御尋フ致シマスガ、此柞蠶ハ獎勵シテ我邦ヲ發達ノ見込ガアルヤ否ヤ、又此柞蠶絲ノ原料ハ内地デ獎勵スルヨリモ支那カラ輸入スル方ガ宜シクハナイイカト思フデスガ、内地ニ於テ之ヲ獎勵シテ發達ノ見込アリヤ否ヤ、其大體ハドウシテモ支那カラ輸入スル方ガ宜シイト思フカドウカ、ソレカラ是迄製シマシタ柞蠶絲原料トシテ製シマシタ織物ニ對シテ、此舶來ノ織物ト競争シテ其織物業ヲ發達スル上ニ於テ其狀態ニ如何デアルカト云フコトニ付テ詳細ニ御説明ヲ煩ハシタイ

○政府委員(下岡忠治君) 此柞蠶ハ日本デモ極ク僅ニ出來マス、將來ハ隨分ヤッテ算盤ガ採レナイコトハナイト云フ考ヲ有ッテ居リマス、大ニ柞蠶自ラヲ飼育スルト云フコト

ヲ擴張シテ往クト云フコトハ、寧ロ原料ヲ他カラ仰イダガ宜カラウト云フ考ヲ有テ居リマス、長野縣方面其他各地方ニ於テモヤッテ居リマスガ、確ニ有利ノ事業ト認メマス、何シロ滿洲アタリデハヤッテ居ル狀態ニ較ベルト柵蠶ヲ自ラハ向フカラ入レル方針ヲ採ルタ方ガ宜カラウト云フ考ヲ有テ居マス、殊ニ韓國ニ於テ義州方面ニ將來大仕掛テ柵蠶ヲ造ルモノガ多イト云フ考ガアリマスカラ、強テ内地テ柵蠶ノ非常ニ獎勵スル方針ヲ採ルヨリハ、出來ルダケ内地デヤッテモ宜イカ外國カラ原料ヲ輸入スル方ガ宜カラウト云フ考ヲ有テ居マス、併ナガラ柵蠶所謂製造シタ絲ニ付テハ將來日本ニハ原料ヲ輸入シテ柵蠶絲ヲ拵ヘルト云フコトニ力ヲ入レルガ宜カラウト思ヒマス、ト云フノハ、柵蠶絲ハ是迄日本デモ自分ノ國ニ出來タコト原料ヲ使フノミナラズ、多少餘所ノ原料ヲ入レテヤッテ見タコトコガ、イロ／＼ノ關係デ大ニ成功シテ居ル譯デハナイガ、例ヘバ或ル會社ガヤッテ特許權ノ問題デ會社ガ解散フシナケレバナラヌト云フコトガアリ、其他各方面デヤッテ居マス、今日柵蠶絲ノ製造業ヲ盛ニヤッテ居ル譯デハナイガ、併シ是カラ先キ原料ヲ入レテ内地デ製造致スト云フ見込ハ多イト云フ考ヲ有テ居マス、何ゼ多イカト云フト現在滿洲アタリデヤッテ居リマスノハ、極ク製造ガ所謂幼稚ナルヤリ方デ、日本ノ方ガ大變特長ヲ具ヘテ居ル、原料ヲ内地デ製造スル技術ガ進歩シテ居ルカラ、コチラニハヤッテ方ガ利益デアルト思フ、アチラデハ御承知ノ通り男子ガヤッテ居マス、生活ノ程度モ低イカラ勞銀ハ廉イケレドモ、柵蠶ノ製造ハ男ガヤッテ居マス、コチラヘテ參レバ女子ガ此織巧ナル技術ヲ以テヤルコトガ出來マスカラ、確ニ技術ノ上カラ云フテモコチラノ方ガ寧ロ進ンデ居ルと思フカラ、サウ云フ點カラ考ヘテ見マシレバ原料ヲ内地ニ輸入シテ、内地デ柵蠶ヲ製造致スト一番得策デアラウト云フ見込ヲ有テ居リマス

○藤井善助君 今野蠶絲ノ質問ガ出テ居マスカラ序ニ伺ヒマス、野蠶絲ハ小梓ト大梓ト云フモノガ多ク入ッテ大梓デアルト俵造リデ、小梓ハ箱ニ造ッテアルカラ分類ガ誠ニシ易イ、價格モ大梓ハ二百五十圓乃至三百圓、小梓ハ五百圓乃至六百圓、殆ド倍加スル程ノ相違ガアルカラ分類スルニ誠ニシ易イニモ拘ラズ、何ゼ百斤大梓モ小梓モ區別セズシテ同一課稅率ニ入レタカ此理由ヲ伺ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今藤井君ヨリ絲ノ造リ方、ツマリ仕揚方ニ依ッテ大變違テ居ルガ、ソレヲ一率ニシタノハドウ云フ譯カト云フ御尋デゴザイマスガ、ドウモ其梓ノ大小デ大キナモノハ廉ク小サイモノハ高イト云フト、自由自在ニ梓ニ上ゲルコトガ出來マスカラ、到底大小ヲ以テ區分シテ稅率ヲ分ケマス目目的ヲ達スルコトガ出來ヌデラウト思ヒマス、サウ云フ譯デ大小ヲ問ハズ一率ニ致シマシタ

○藤井善助君 此大梓小梓ノ差ハ極ク分リマス、大梓ハ俵造リカラ品質カラ違ヒマス大梓ハ二十粒付以上小梓ハ十粒付以上造リマス、俵裝ニシテモ一瞥シテ能ク分ル、本員等ハ此品ヲ取扱テ能ク知テ居ルノデアアル

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今ノハドウモ稅ガ同ジデカラサウナッテ居リマスケレドモ、茲ニ稅ヲ區分シマス直グニ稅ノ廉イ方ニ形ヲ變ヘテ來ヤウ、唯今ハ稅ハ同ジデス

○藤井善助君 大梓ハ安東縣、小梓ハ芝罘カラ入ッテ居リマスカラ產地ガ違ヒマスカラ、其區分ハ付カヌ譯ハナイ筈デス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) ソレデ目目的ヲ達スレバ宜シイト思ヒマスガ自分等ノ考ヘデハ稅率ノ差ガ若シ僅カナモノデアレバドウデモ宜シデアリマスガ、之ヲ少シク稅率ノ差ヲ大キクシマス、直グニ其廉イ方ノ形ニ變テ來ルコトガ起ラウト思ヒマス

○藤井善助君 ソウシマス現在ノ狀況ガ能ク區分ガ仕易イニ拘ラズ、將來同一ノ課稅ヲスルガためサウ云フ弊ガ行レルト云フコトヲ見越シテ、殊更ニ前カラ倍額カラ價ノ違フモノヲ同一ノ課稅ヲサレルコトニナリマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 區別ガ仕易イト見テ居ラス、其區分ガ出來ヌト見テ居ル故ニ一率ニシテ

○武藤金吉君 薩ト云フノハ……

○政府委員(下岡忠治君) 薩ハ無稅、絲ハ一割五分ノ課稅デス

○武藤金吉君 山薩及薩ト何セシナイデスカ

○政府委員(下岡忠治君) 廣イ意味デ薩ト云フ字デ含ンデ居ルノデ

○藤井善助君 現在區分シ易クナッテ這入ッテ來テ居ル、產地モ違ヒ、表作リカラ總テノ拵ヘガ違フカラ區分ノ付カヌコトハナカラウト思ヒマス、尙伺ヒマスガ柵蠶製絲ニ付イデハ從來屢々本邦ニ於テモ薩デ柵蠶製絲ヤリ、柵蠶製絲ノ工業ガ企テラレタガ、小梓ニ付テハ現ニ有力ナル計畫ニ依ッテ其製工業ガ計畫サレツ、アリマスガ、小梓ト大梓ト區分シテ小梓ニハ現行ノ課稅率二十一圓ヲ倍加シテ課稅スレバ、柵蠶業ノ上ニ有望ナヤウナ感情ヲ持チマスガ、課稅ニ等差ヲ置イテ日本ノ柵蠶工業トシテ將來ノ見込ミノアル小梓ニ比較的重稅ヲ課シテ、此工業ヲ獎勵スル御意思ガアリマスカ

○高橋光威君 此野蠶絲ハ日本ニドレ程アリマス——野蠶絲デハナイ薩、ソレカラ支那ヨリ輸入スル薩ハドレ程デ、又野蠶絲ト日本デ加工スル製蠶ハドレ程デアルカ、又ソレヲ外國ニ輸出スル高ハドレ位デスカ

○政府委員(下岡忠治君) 日本デ現在拵ヘテ居ル高ハ極ク僅デ、薩ハ粒數ニシテ三十八年ニハ二萬粒トナッテ居リマス、之ヲ絲ニ換算シマスト四百把位ノモノデ、此價ハ二百圓足ラズデ薩トシテノ產額ハ極ク少ナイ、柵蠶絲ノ輸入額ハ百四十萬圓ニナッ居ルト思ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 梓ノ大小ニ依ッテ稅率ヲ異ニスルハ、結局私共ノ考デハ目的ヲ達セヌト思ヒマスカラ、ソレハ宜クナイト思ヒマス、サウ云フ區分ヲ致シマスノハソレハ區分出來ルト云フノハ、藤井君ノ御見解トシテ其以上申シマセヌ、ソコデ薩ヲ無稅トシテ——柵蠶ヲ無稅トシテ野蠶絲即チ柵蠶絲ニテシテボニナリマスガ、百斤三十一圓ト云フ稅ヲ掛ケレバ私共ノ計算シテ居ルトコロデハ内地ニ柵蠶絲ノ製造ガ起リ得ルト思フ、諸君ノ御手許ニモ柵蠶絲ノ輸入稅全廢ヲ主張サレル意見書ト、輸入稅ヲ重クスルガ宜

○高橋光威君 日本デ製造スル高ハ……

○政府委員(下岡忠治君) 外國ニハ出シマセヌ

○委員長(野田卯太郎君) 絲ヲ採ル會社ガアッテ薩カラ絲ニ採ルモノハ幾ラアルカ

○政府委員(下岡忠治君) 薩ハヤッテ居リマセヌ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 區別ガ仕易イト見テ居ラス、其區分ガ出來ヌト見テ居ル故ニ一率ニシテ

イト云フ意見書ト兩様ノ調ベ方ガ御手許ニ往ッテ居ルト思ヒマスガ、私共此兩方ノ計算ヲ以テ相當デナイト思フテ居リマス、試ミニ計算ヲシテ見マシタ、無稅ノ柞蠶繭ヲ日本ニ輸入シテ日本デ糸ヲ引イテドシナ風ニ往クカト云フコトヲ計算シテ見マシタガ、大キイ利益ハムツカシイウデアリマスケレドモ、三十一圓ノ稅ヲ外國ノ繭ニ掛ケテモ繭ヲ外國カラ入レテ運賃ヲ拂ッテモ、日本デ製絲ヲヤッテ相當ニ引合フト云フ計算ヲ玆ニ見タノデアリマス、故ニ是デ内地ニ柞蠶繭ノ製造業ガ私共起リ得ルト思フ、但シイロノ技術ノ不熟練ト云フヤウナ時ハソレハ餘程困難カ知ラヌト思ヒマスガ、ソシナニムツカシイ技術デモナイト云フコトヲ私共聞イテ居リマス、此位ノ稅率デヤレバ内地ニ於テ柞蠶繭ノ製造ハ成立チ得ルト考ヘテ居リマス、別ニ大梓小梓ト云フ區別別スル必要ハナイ

○武藤金吉君 尙此柞蠶繭ニ付イテ御尋ヲ繼續シタイト思ヒマスガ、唯今下岡政府委員ノ御答辯ニ依リマス、繭ニハ山繭モ含メテ居ルト云フ櫻井政府委員カラノ御答辯ニ依リマシテモ、山繭ノ製絲業ヲ發達サセルタメニ野蠶糸ニ百斤ニ付イテ三十一圓ノ稅率ヲ課スルト云フ御趣意ノヤウデアリマスガ、此繭ガ無稅デアッテ糸ガ是デケノ高イ稅率ヲ課シテ置クト云フコトニ付キマシテハ、是程差ガナクテモ宜カリソウニ思ヒマス、又繭ノ如キハ無稅ニナリマスノハ元來當リ前ノ繭ガ入ッテ來ルノデナイ、繭ハ玉繭ト稱シマシテ繭ノ繭ハ普通ノ製造ガ出來ヌ、大キナ玉繭ガ入ッテ來テ、重ニハ内地用ノ絹織物ニ使フ、原料ニ當リ前ノ繭ハ使ッテ居ル、ソレト同ジク山繭ハヤハリ内地用ニ重ニ使ハル、モノデアッデ、決シテ輸入シタトコロガ是ハ外國ニ往クベキモノデナイ、寧ろ山繭製ノ織物ノ外國ノ輸入ヲ防グタメニ内地デ此事業ガ起ッテ居ル、現ニ藤井君ノ地方ハ產地デアルト思ヒマス、今是等ノコトヲ政府ハ如何ニ野蠶糸デ製造スル織物ノ獎勵ハ如何ニシテ獎勵シテ輸入ヲ防グコトガ出來ルカ、又糸ヲ入レルノ繭ヲ入レルノト是等ノ事業ヲ保護スル上ニ於テ利害ハ如何、ソレカラ又繭ヲ無稅ニシテ糸ニ是デケノモノヲ課スルハ如何ニモ高クナイカ、現在ニ山繭製絲事業ハナイ將來アルカ知ラヌガ現在ハナイ、現在織物業者ハ如何ニ是デケノ稅ニ堪ヘルカドウカ、政府ノ御見込ハドウカドウカデモ宜シウゴザイマス、モウ少シ具體的ニ御答辯ヲ願ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 尙武藤君ニ御答シマスガ、ツマリ繭ハ原料デアアル、即チ天蠶、柞蠶、何レモ天產品其儘デアアル、斯ウ云フヤウナモノハ無稅ニシテ成ルベク柞蠶繭如キモ一年百四十何万ト云フ需用ガアルモノデアアルカラ、サウ云フモノハ糸デ入レズニ繭デ入レテ、内地デ柞蠶繭ノ業ガ起リ得ルヤウニスルノハ蠶業ノ政策上宜カラウト云フ考ヲ有ッテ居リマス、ソレデ三十一圓ト云フ稅ガ武藤君ノ御考デハ高過ギルヤウニ御考デアリマスケレドモ、段々此柞蠶繭ハ御承知ノ通り輸入ノ統計ニ依リテ見マス、餘程金ガ上ッテ來テ居リマス、故ニ最初三十一圓ト云フハ價格一割五分ニ見當リ取ッテ極メタノデアリマス、今日ノ普通ノ柞蠶繭ノ相場カラ見ルト一割五分ニハ當ッテ居リマセヌ、一割五分ヨリモット低イ割ニ出ルデアラウト思ヒマス、即チ柞蠶繭ノ直段ガ上ッテ居リマス、三十一圓ト云フ率ハ一割五分ヨリハ低ク當ッテ居ルト思ヒマス、先刻藤井君カラノ御問ニ對シテ大藏省デ計算シタモノハ斯ウ云フ計算ニナリヤウデアリマス、柞蠶繭ノ相場ヲ百斤三百六十一圓ト見テ、買付手數料ガ七圓二十錢、包裝費二圓七十錢、輸出稅三圓是ハ芝罘ヲ目的トシマス、船積料百斤五十錢、運賃二圓五十錢、保險

料一圓五十錢、之ニ輸入稅ヲ三十一圓加ヘルト四百九圓八十六錢ト云フ計算ニナリマス、繭ヲ輸入スル場合ノ計算ハ柞蠶繭十八万粒、生絲百斤ガソレカラ出來ル繭デアリマス、其代價ガ二百二十五圓、買付手數料四圓五十錢、荷造費四圓五十錢、運賃二十二圓五十錢、保險料九十錢、輸出稅十一圓二十五錢、是ハ原價ノ五分ト見タモノ、製絲ノ工賃百八十三圓ト見テ一把三百十五文、練賃二圓四十錢、燃料一圓二十錢ノ割此計ガ四百三圓六十五錢、ソレ故ニ絲ヲ輸入スレバ四百九圓八十錢、外國カラ繭ヲ輸入シテ絲ヲ引ケバ四百三圓六十五錢ニナリマス、此差デ見レバ繭ヲ輸入シテ内地デ絲ヲ引クト云フコトハ計算ガ立ツト思ヒマス、尤モ是ニハ技術ノ熟練不熟練トカ云フコトハ勘定ニ入レテナイノデ、サウ云フ點ハ實際事業ヲヤルニ付テハ考ヘナケレバナラヌト思ヒマスガ、勘定ノ出來ルモノヲ勘定スレバ、只今ノヤウナ計算ガ立チマス、然ラバ絲ヲ輸入スルヨリ繭ヲ輸入シテ柞蠶繭製造ノ業ガ起リ得ルヤウニ定メルガ相當デナイカト考ヘマス

○千早正次郎君 初メ大藏省ノ委員ノ御答ハ柞蠶繭ニ課稅スルハ生絲保護ノ意味ニ於テ課稅スル、又先キニハ内地デ繭ヲ輸入スル方ガ工業法ノタメニ宜イト云フヤウナ御答デ、前後矛盾シテ居ル、ソレハ兎ニ角此小梓ト大梓ノ差ハ判然明カデアアルコトハ分ッテ居ル、小梓ノモノハ織物ニ用井ラレルガ、大梓ハ今日使用ノ途ヲ異ニシテ、内地ノ織物ニ織ラル、ヨリ一種ノ「レース」ト云フヤウナ物ニ織ラル、ガ九分ト思ヒマス、一方カラ云フト京都ノ東洋柞蠶會社ノ如キハ現ニ輸入シテ失敗ニッテ居ル、其他二三箇處モ繭ノ輸入ヲシテ失敗ニッテ居ル、一時内地ニ於テ「レース」天蠶絨ナド發展シマシタガ、近頃又佛蘭西、獨逸等ヨリ「レース」ト云フ織物ガ入ッテ、一旦發達シカケタ内地ノ製造品ハ其壓迫ヲ受ケテ挫折セントスルト云フコトデアアル、其原因ハ獨逸、佛蘭西若クハ亞米利加ナドニ於テハ無稅ニテ輸入シテ、サウシテ精良ノモノヲ拵ヘテ日本等へ輸出スルタメニ内地ノ製造業者ハ壓迫ヲ受ケル、此等ハ絲トナッタモノヲ内地ニ輸入スルガ利益デアラウト思ヒマスガ、如何デアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今ノ説明ガ他ノ政府委員ノ説明ト矛盾スルヤウニ御考ヘデアリマスガ、絲ノ保護ノタメト云フコトヲ言ッタノデナク、或ル程度マデ生絲ニ用井ルトコロノ柞蠶繭ヲ用井テ用井スモノデアアル、日本デハ生絲ニ三割ノ稅ヲ掛ケテ居ルカラ其鈎合モ見ナケレバナラヌト云フコトヲ申シタノデ、單純ニ生絲保護ノタメニ柞蠶繭ニ稅ヲ掛ケルト云フコトヲ申シタノデナイ、左様御承知ヲ願ヒマス、又外國ニハ無稅ガ多イト云フ御説デアリマスガ、如何ニモ外國ハ生絲ハ高低無稅ニナッテ居リマスガ、是ハ自國ニ生絲ヲ產シナイト申シテ宜イ、日本トハ國情ガ違ヒマスカラ既ニ日本ニ於テハ生絲ニ三割ノ稅ヲ課スル以上ハ、柞蠶繭ヲ全ク無稅ニスルハ其鈎合カラ申シテ相當デナイカト思ヒマス、「レース」ト云フ天蠶絨織ガ參リマスガ、是ハ次ノ類ノ織物ノ處ノ絹織物ノ中ニ絹ノ物ニハ百斤五百二十圓ト云フ高イ稅ヲ課スコトニナッテ居リマス、是ニテ雙方ノ權衡ヲ取ッテ行クト云フ考ヘデアリマス

○武藤金吉君 山繭ヲ無稅ニスル、野蠶繭ニハ高稅ヲ課スル、屑絲ハ無稅ニスルト云フ、是等ハ概シテ私共ノ見ルトコロデハ總テ同一種類原料ト認メテ差支ナイカト思フ、今日ハ眞綿ノ如キハ輸入ガ無イト云フ御説明デアッタガ、是ハ無イ答デアアル、此前ニモ問

題ニナツテ其當時ニモ一割五分トナツテ、今度ノ改正ニモ政府デハ眞綿ハ入ラナイ、眞綿ハ要スルニ副産物デドウデモ宜イト思フテ居ルカラ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデナイカ、眞綿ノ如キハ内地デ使フバカリデナイ、寒帯地方ニハ非常ニ高イモノトシテ、輸入セラレテ居ル、日本デハ眞綿ハ税ヲ課スルコトニナツテ居ルノデ、今日ハ支那カラ直接ニ西比利亞露國等ニ入ッテ行クト云フ有様デアル、是等ハ同一ノ原料デアルノニ甲ニ重ク乙ニ輕イト云フノハドウ云フ譯デアルカ、殊ニ屑絲ヤ生皮等ノ如キハ御説ノ通り、絹絲紡績ノ材料トナル絲ト變リハナイ、眞綿ノ如キモヤハリ絹絲ト差ハナイ、又繭ト製絲ハドレダケノ差ガアルカト云ヘバ、藤井君、千早君等カラ御話ノ通り現在ニ出來ナイモノデ、將來ニ於テ獎勵スルト言フタコロガ、野蠶絲ト輸出織物ガ競争シタコロガ、其競争ニ堪ユルカト云フコトハ大藏省デハナイ、農商務ノ政府委員カラモウ一應伺ヒタイ

○政府委員(下岡忠治君) 野蠶絲ヲ日本デ拵ヘテ行クニ付テ、其關稅率ニ堪エテ製造ノ見込アリヤ否ヤト云フ御問ニ御答致シマス、先刻他ノ政府委員ヨリ申シマシタ通り、見込ハ非常ニ多イ積リデアリマス、何トナレバ勞力ノ上カラ申シマスト内地デヤツタ方が勞銀ガ廉イ、内地ハ女工デアルノニ、向フハ男工デアル、ソレデハマデ野蠶絲ハ需用ガナカッタモノデカラ、一端東洋柞蠶株式會社ナリ、其他二三デヤリマシタガ多少技術ノ失敗モアリマシタガ、他ノ原因デ失敗シタノガ多イノデアリマス、ソレカラ今ハ去年カラ始メカケテ居ルノガ一ツアリマスカラ、是ハ前言ヲ訂正シテ置キマス、是ハ去年カラ始メタノデスカラ果シテ都合好クヤツテ行クト云フコトハ分リマセヌガ、是マデ農商務省ノ調ベテ居ルトコロニ依ッテ推定スレバ、内地デ製造ヤルト云フコトハ非常ニ有望ナコト、認メテ居リマス、現ニ西河原試驗場ニテ試驗シテ見タ結果、向フデ拵ヘサシテ絲ヲ入レルト云フヨリハ向フノ原料ヲ使ッテ日本デヤルト云フ方が經濟ノ上カラ言フテモ無論宜カラウ、又見込ガアル、サレバト云ッテ一割五分ノ關稅ヲ高メルト云フナラバ、此事業ガ俄ニ勃興スルハ違ヒナイト思フガ、一方ニ需用ト云フ方モ考ヘナケレバナラヌカラ、先ヅ一割五分ト云フ位デアレバ、餘リ需用者ニ苦痛ヲ與ヘズシテ内地デ發達シテ行ク見込ガアラウト云フ考ヲ有ッテ有リマス

○委員長(野田卯太郎君) チョット御尋シテ置キマスガ、眞綿ニ稅ヲ掛ケルト云フ必要ハ何處ニアルカト云フ質問ガアリマス、之ヲ無稅ニスレバドウ云フ害ガアルカ、之ニ稅ヲ掛ケル所以ガアルト思フガ……

○政府委員(下岡忠治君) 眞綿ハ他ノ政府委員カラ申シマシタヤウニ兎ニ角加工シタモノデアル、普通ノ繭ハソレニ加工シテナイガ、加工シタモノデアルカラ原料ノ無稅ト云フコトハ程度ガ違フノハ無論デアリマスガ、ソレノミナラズ之ヲ無稅トスレバ内地ノ眞綿ノ價格ヲ下落スルト思ヒマス、眞綿ニ四割五分ノ關稅ヲ課スルノハヤハリ保護ノ意味ヲ含メテ居ルト思ヒマス

○武藤金吉君 屑絲ヤ生絲ハ加工シタモノデハナイト御認メナリマスカ

○政府委員(下岡忠治君) 屑絲ヤ生絲ハ加工シタモノデナイトハ認メマセヌガ、是ハ製造ノ原料ニ使フモノデ、眞綿ハ其儘使フコトニナツテ居リマスカラ、程度ハ餘程違フト思ヒマス

○武藤金吉君 唯今ノ眞綿ト屑綿生絲ノ說明デアリマスガ、若シ加工シタトスレバ同

一ノモノデアツテ、一方ハ紡績ノ材料ニ用ユルケレドモ、又眞綿モ其儘使フバカリデナイ、更ニ種々ノ材料ニモナルノデアルカラ其程度ハ違ハナイト思ヒマス、眞綿ハ全ク入ラヌモノデアルカラ、ドウデモ宜イ位デ、前ノ法律カラ引續イテ斯ウヤツテ居ルト云フ譯デアリマスガ、繭トハ同ジ絲デカラ繭ニシテ置ク、繭ニシテモ支那カラ入ル繭ハ普通ノ繭デハナイ、玉繭ガ入ル、其繭ノ中ニハ柞蠶繭ガ入ルト云フコトニナツテ居ルノデスガ、此邊ハドウデモ宜イト言ッテ此眞綿ニ課稅シタ譯デアリマスマイガ、政府ノ見ルトコロト吾々ノ見ルトコロデハ實際違フノデス、又用途モ政府委員ノ答辯ノ如キモノデハナイノデスカラ、是ハ少シク御考ガ違ヤアセヌカト思ヒマスガ、ドンナモノデス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 眞綿ノコトハ政府委員カラ御答ガ盡キテ居ルヤウデアリマスガ、眞綿ハ斯ウ云フ風ニ見テ居リマス、繭ヲ煮テソレノ仕事ヲシテ眞綿ニ造ル、出來タ眞綿ハ著物ノ中ニ入レルトカ、眞綿其儘使ヘルヤウニナル、生皮等ノ如キハ更ニ之ヲ紡績機械ニ掛ケテ引出シテ絲ニナル、是等ノ點ニ依ッテ眞綿トハ違フモノト見テ居リマス

○淺羽靖君 人造絹ハ將來日本ニ對シテ輸入サルベキ狀況ヲ呈シツ、アルノデゴザイマスガ、其模様ヲ一應伺ッテ置キタイ、ソレカラ麻類ノ輸入ガ年々増加シテ參リマスガ、日本國ニ於ケル麻及ヒ亞麻其他、其ノ種類ノ耕作ノ狀態ガ如何ナル現狀ヲ呈シテ居ルカ、又政府ガ麻類ニ對シテ大抵ノ撙節其他ニ對シテ一時ノ稅率ヲ此改正案ニハ掛ケテアリマスガ、其邊ノ基クトコロヲ一ツ伺ッテ置キタイノデゴザイマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 人造絹ノ御問デアリマスガ、人造絹ハ四十一年度ニ九十九萬圓十萬圓バカリ入ッテ居リマス、四十二年ハ八月マデニ二十九萬圓バカリ入ッテ居リマス、人造絹ハ御承知ノ通り水ニ遇フト云フ價值ノナイモノニナツテシマウノデス、サウ云フ性質ヲ有ッテ居ルモノデアリマスカラ見タコロヤ何カハ絹絲ノヤウニ見エテ絹絲ノヤウニ使ヘルヤウデアリマスケレドモ、サウ云フ弱點ガアルノデス、且目方が重イ、是モ一ノ弱點デアリマシテ、政府ノ考ヘデハ此人造絹ガズンノト當リ前ノ絹絲ヲ侵スト云フコトニ急速ニ進ムデアラウカト云フト、サウ云フコトニハナルマイト考ヘテ居リマス、ソレカラ大抵ノ絲、之ヲ一割三致シマシタノハヤハリ是ニハ御覽ノ通り八分ノ協定ガ現今アリマス、デ絲——織物ノ原料ニナルトコロノ絲ト云フモノハ普通ノ織絲ノ如キモノハ、先ヅ一割乃至一割五分ト云フ程度ガ相當デアラウ、斯ウ云フコトデ黃麻ニシテモ一割、亞麻ノ織絲モ一割、是等類似ノモノハ皆一割ト致シマシテ、唯ソレヲ撙節セタイロノ工程ノ進ンデ居ルモノガ二割若クハ三割、斯ウ云フ風ニ稅率ヲ極メマシタ、ソレカラ亞麻モ同ジコトデ二百八十一ヲ御覽ニナリマス、是ハ大抵黃麻ト云フヤウナモノデアリマス、撙節セタ絲デアリマス、是ハモウ其絲ヲ直グ使フヤウニナツテ居ル絲デアリマス、織物ナドニ使フモノデアリマセヌ、サウ云フ消費ノ狀況ガ織絲ト違ッテ居リマスカラ二割、斯ウ云フ高イ稅ニシタイデアリマス、現今モヤハリ是ハ二割トナツテ居リマス

○淺羽靖君 亞麻ハ大麻ト共ニ我國デハ漸々耕作ガ發達シツ、アルヤウニ本員ハ認メテ居ルノデゴザイマス、然ルニ依然トシテ今回ノ改正ニモ無稅トナツテ居リマスガ、是ハ絶對ニ木綿綿等ノ如ク日本ニ於テハ耕作ノ見込ガ無イモノトシテ無稅トナツテ居ルノデスカ、ソレヲ伺ヒマス

○政府委員(下岡忠治君) 亞麻ハ内地デヤ見込ガ無イト思ヒマスガ、北海道デハ見込ガアルト云フ考ヲ持ッテ居リマス、現ニ作付段別モ亦生産額モ十年以來大分殖エテ居ルヤウデゴザイマス、無稅ニシテ置イテ或ル程度マデ北海道ニ於テハ亞麻ハ進シテ行クト云フ見込付ケテ居リマス、無論是ハ程度問題デアリマシテ、非常ニ亞麻ノ栽培ヲ擴ゲルト云フコトハシニクイ、又亞麻ト云フモノハ隨分害虫ト云フモノモ多イヤウニ聞イテ居リマスカラ、非常ニ此耕作段別ヲ殖ヤシテ行クト云フコトハ農業ノ經營ノ上ニ於テ利害得失ヲ考ヘネバナリマセヌガ、先ヅ北海道今日ノコロデハ一万町歩位ノモノハ耕作シテ、十分需用ヲ充タスコトニナルデアラウト云フ 推定ヲ下シテ居リマシテ、其位ノモノハ今日ノ稅率ヲ特ニ掛ケヌデモ行クデアラウト云フ見込ヲ持ッテ居リマス

○藤井善助君 昨ハ二百七十五ノ亞麻織絲ニ付テ伺ヒマスガ、亞麻織絲ノ從價稅率一割トアリマシテ、甲生ノモノ「ガ八圓六十錢」乙其他ノモノ「ガ九圓二十五錢」トアリマスガ、是ハ甚シキ違算ガアルカト思フ、ソレハ曩ニ配付ニナッテ居ルトコロノ亞麻織絲、各年輸入額對照表ト云フ表ノ上カラ見マシテ、近イ五箇年ヲ平均シタコロデ九十五圓八十五錢ト云フ價格ガ出ルデアリマス、尙本員ノ調ニ依レバ實際ノ市價ナルモノハ百圓以上百十圓ヲ超エル如ク考ヘルデアリマスガ、是ハ要スルニ甚シイ等差ガアリマスルガ、此輸入額對照表ト云フ表ノ調ハ所謂稅關「インヴォイスメント」即チ通關價格ト云フモノヲ調査シタ結果ニ依ッテ、此ノ如キ實際ノ市價ト甚シイ差異ノアル價格ガ算出サレタデアリマスガ、其邊ノコトヲ伺ヒマス、ソレカラ「乙其ノ他」ト云フ科目ガアリマスガ、其他ト云フノハ要スルニ甲生ノモノニ晒白作用ヲ施シタモノヲ其他ニ入レルデアリマスガ

○大藏技師(矢部規矩治君) 御答ヲ致シマスガ、此價格ト市場ノ價格ト差異ノアルノハ勿論ノ話デアリマシテ、市場ノ價格ニ付テハ關稅ト云フモノガ掛ッテ居ル、其他ノ口錢ト云フモノモアリマスカラ、自然大藏省ノ調査シテ居ル輸入價格ト差ガアリマス、ソレカラ四十一年ノ總計ヲ見マスルト九十八圓、ソレカラ四十年ノ總計ヲ見マスルト九十二圓、斯ウナッテ居リマス、之ヲ今「二ツニ分ケタ」ハエラ加ヘタモノトエラ加ヘナイモノト分ケマシテ、エラ加ヘタ方ハツマリ晒シタ方デアリマス、晒シタ方ハ九十二圓五十錢バカリニナリマス、是ハ市場ノ價格カラ云ヒマス、標準價格ヨリ上ル譯デス、生ノ方ハ標準價格ヨリ下ル其差ト云フモノハ亞麻織絲ト云フモノハ常ニ二十磅デ相場ガ立ッ、ソレデ六圓ノ差ガ立ッ、其六圓ノ差ガ此處ニ現ハレテ居ルデアリマス

○藤井善助君 唯今ノ御答辯ハ關稅其他市場ノ口錢ガ入ッテ居ルカラシテ、實際ノ市價ト調査サレテ居ル、表ノ價格ト相違ガアルノハ當然ト云フ御答デアリマスガ、私ハ左様ナコトヲ御尋ネシタノデハナイ、英本國ノ市價ニ日本迄到著スル運賃ヲ加ヘテ、サウシテ關稅ヲ含マストコロノ實際ノ價格ナルモノト甚シイ相違ガアルト認メルデアリマス、要スルニ御示シナッテ居ルトコロノ輸入價格對照表ノ平均ガ九十五圓八十五錢トナルノデアリマス、然ルニ八圓六十錢、即チ百斤八十六圓ト云フ價格ヲ示シテ居リマスカラ、ソコヲ伺フデアリマス

○大藏技師(矢部規矩治君) ソレハ五箇年ノ平均ヲ見マス、戰爭中ハ非常ナ騰貴デ、夫以上ノ價格ヲ現ハシテ居リマスカラ、五箇年ノ平均デ申セバ自然上ル譯デア

リマス
○藤井善助君 最近五箇年ハ上ッテ居リマセヌ
○大藏技師(矢部規矩治君) 三十九年ニ百圓以上ノ相場ヲ現ハシテ居リマス
○藤井善助君 其以前ノ三十四年モ百圓以上ノ相場デアリマス
○大藏技師(矢部規矩治君) 三十四年デケハ百圓以上ノ相場ヲ現ハシテ居リマスガ、五十七圓ト云フモノハ八十圓臺ニナッテ居リマス

○藤井善助君 其點ハ吾々ノ調査スルトコロトハ甚シイ差ガアリマスガ、ソレハ御答辯ナイモノトシテ「乙其ノ他」ト云フノ處ニ晒白作用ヲ施シタモノトアリマスガ……

左様デス

○大藏技師(矢部規矩治君) 尙御答ヘ致シマスガ、先キ程二十磅ニ付テハ八圓ト申シタノハ間違ヒデ一圓デアリマス、百斤ニ付テソレヲ換算スルト六圓六十錢バカリノ差ガアリマス、是ハ市場ニ於テモ常ニ晒シタモノト晒サナイモノト懸隔デアリマシテ、此稅率ニ於キマシテモヤハリ六圓六十錢バカリノ開キヲ見テ居リマス、穩當ト考ヘテ居リマス

○藤井善助君 唯今ノ晒白シタモノ、價額ノ相違ノ御答辯ハ満足シマセヌガ、而シツレニ止メテ置キマシテ尙伺ヒマスガ、此從價稅率一割デ原料デ稅率八分ノモノデアッタモノガ一割トナッテ居リマスガ、本員ノ見ルトコロニ依ルト名ニ於テハ一割デアルガ其實ハ七分ニシカ當ッテ居ラス、假ニ現行ノ八分ノモノヲ一割ニ増加サレルニ付キマシテハ内地ニ於テ之ヲ保護スル意味デアリマセウカ、單ニ收入ヲ目的トサレルデアリマスガ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 此一割ト云フコトハ先刻淺田君ノ御問ヒニ御答シマシタガ織絲ノ如キモノハ大體一割ト云フコトニシタデアリマス、二分上ゲテ亞麻織絲ヲ保護シヤウト云フヤウナ趣意デハゴザイマセヌ、詰リ他ノ木綿絲ヤ其他ノ物ト鈞合ヲ見マシテ織物ノ原料ニナルデアリマスカラ輕イ稅ガ宜カラウト云フノデ、權衡上カラ斯ウ云フ風ニ一割ヲ掛ケレバ、ソレデケ精麻ノコトハヨク廉ク上ガラウ、單ニ保護ト云フ點カラ見、若クハ歲入ノ一點カラ見テ居ラス、斯ウ云フコトニドウカ……

○高橋光威君 只今此亞麻ノ織絲ノコトニ付テハ隨分問ハント欲スルトコロヲ問ハレタカラ、重ネテ問フノ必要モ認メマセヌガ、此二百七十七ノ亞麻織絲及「ラミー」織絲ト云フノハ前ノ二百七十五ハ重量稅ニ加フルニ從價稅ヲ以テシタル理由ハ何處ニアリマセウカ、是等ハヤハリ前ノ二百七十五ト同様重量稅ニセラレタ方ガ宜イカト思フデアリマスガ、政府ハ特別ノ理由ハ如何ナルトコロニ見ルトコロガアッテ、之ヲ從價稅トセラレマシタカ、又二百七十四ト云フモノヲ從價稅ニセラレタナラバ此二百九十六ノ如キハ之ハ從價稅トセラレテ居リ、彼是或ハ從價稅ニ取リ、或ハ重量ニ取ラレタル特別ニ區別ヲ設ケタル理由ハ何處ニアリマスカト云フコトヲ伺ヒタイ、ソレカラ又モウ「ハ苧麻」ト云フモノト「ラミー」ト云フモノハ同様ノモノデアリマスガ、只其「ラミー」ト云フノハ精製シタル品物デアッテ

價が非常ニ苧麻トハ高低ガアツテ其差頗ル大ナル開キガアルノデアリマスガ、重量税トシテヤハリ六圓ト同様ニ二百九十六ニハナツテ居リマス、一方ノ二百七十四ノ方ハ從價デアリマスカラ、之ニ對シテハ若シ從價トスルナラバ餘リ異議ハナイノデアリマスガ、前ニ從價トシテ置クニ拘ラス次ギノ二百九十六ニ於テハ重量トシテ同一ニ六圓トナツテ居リマス、斯様ナ開キノアルニ拘ラス六圓トナツテ居ルノハドウ云フ譯デゴザイマスガ、是ハ交ゼテ織ツタモノト云フデアリマスガ、同一ニシタノデアリマスガ、交ゼテ織ル物トシタモノデモ亞麻、苧麻、大麻、黃麻ト同一ノ價ニ似寄ツタモノヲ交ゼテヤルナラバ宜シイガ「ラミー」ガ這入ルト這入ラヌデ、大層價格ニ差異ヲ生ズルト思ヒマス、只此重量トシテ從價トシテ區別ヲ立テタ特別ノ理由、第二ニハ價ノ開クベキモノハ同一ノ重量税、即チ六圓トセラレタル理由ヲ詳細ニ伺ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 二百七十七ノ二、苧麻織絲及ビ「ラミー」織絲ハ從價ニ致シマス、是ハ從價ニ致シマス、是ハ從來其稅關ノ統計ニ上ツテ居リマセヌ、即チ輸入ガナイデ、又サウ云フ譯デアリマスカラ重量ノ平均額ヲ算出致シマス基礎ガナイノデ已ムヲ得ズ從價ニ致シテ置イタ譯デ、ソレカラ二百九十六ノ二「ラミー」一若クハ二以上ニテ製シタルモノ、茲モ「ラミー」ノ織絲ガデス、入リマセヌト實際茲ニハ上ゲテアリマスケレドモ「ラミー」ト云フモノデ製シタル紐トカ云フヤウナモノハ實際ニハ輸入ガナイノデアリマシテ、茲ニ上ゲテハアリマスガ働カナイノデ、サウ云フ譯デ茲ニ分額ヲシタノデアリマス、實際ニ二百九十六ノ二「ラミー」ト云フヤウナモノハ未ダ入ツテ居リマセヌ、サウ云フコトデ百斤六圓ト致シマス、同時ニ其「三」其他ト云フノガアリマス、茲ニ從價ニ割ガアリマス、是ハヤハリ種々難多ノモノガ抱括サレマシテ値段ノ平均ガ見出シ惡イノデ、此處ハヤハリ從價ニ致シマス

○高橋光威君 「ラミー」ト云フモノハ原料トシテ成程入ツテ居ルヤウデアリマスガ、製作品トシテ從來餘計ニハ入ツテ參リマセヌ、然レドモ多少ハ入ツテ居ル答デアリマス、重モニ瓦斯ナド「ラミー」ニ使フノハ「ラミー」デアリマスガ瓦斯「ラミー」ノ需用ハ年々増加致シマシテ、其金額ハ頗ル大ナルモノデアリマス、將來瓦斯事業ノ發達ト共ニ「ラミー」ノ製出モ益々發達スルコトデアラウト思ヒマス、同時ニ又外國ヨリモ今後往々ニシテ輸入サレルト云フ傾向ヲ免レサルモノト信ズルノデアリマス、而シテ「ラミー」ト云フモノハ苧麻、大麻ナド、價額ガ非常ニ違フノデ、殆ド三倍位ニナルノデアリマス、ソレヲ同ジク六圓トシテ其間ニ區別ガナイト云フノハチヨット疎漏シヤナイカ知ラント思フノデアリマス、目今ノトコロハカリヲ見ズシテ關稅ハ長ク續クモノデアリマスガ、相當將來ヲ見越シテ正確ナル規定ヲ立テタ方ガ宜カラウト思フノデアリマスガ、政府ハ目今ノトコロバカリヲ見ズシテ將來ニモ多少ノ考ヲ置イテ、之ヲ改メルト云フ大悟ノ心アルヤ否ヤ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 高橋君ノ御問ヒハ二百七十四項ヲ御覽下サルト「ラミー」ノコトハ最早説明ヲ要サヌデ御了承ニラウト思ヒマス、ソレカラ御問ヒノ如ク瓦斯「ラミー」ノ方ニ使ハレルヤウナ織維ハ多ク二百七十八ニ入ラウト思ヒマス、ソレカラ二百九十六ノ方ハ是ハ太イ撚タ綱デス、サウ云フヤウナモノハ多ク二百九十六ノ方ニ入リマス、ツマリ「ラミー」ノ原料ハ是等ノ絲ヲ使ヒマス、織維ナラバ無稅ニシテ内地デ織維デ以テ絲ヲ造ツテ、サウシテ業ヲ起ス、斯ウ云フ風ニスル方ガ宜カラウ、製品デ入ルモノヨリモ

原料デ入ルヤウニ仕向ケル方ガ宜カラウ、斯ウ云フコトデ原料タル織維ハ免稅ニシタ、而シテ其絲ニ製セラレタモノニハ相當ナル稅ヲ掛ケタ、サウシテ日本デモ出來ルヤウニシヤウ

○高橋光威君 同一ノ價ニスルノハドウ云フ譯デス、價が非常ニ開イテ居ルノニ同一ノ六圓ト云フノハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 是ハ先刻申上ゲマシタガ二百九十六ノ中ニ亞麻、苧麻「ラミー」ト云フモノハ總テ輸入ハ無イノデス、六圓ノ適用ハナイノデス、此二項ノ主タル目的ニナツテ居ルノハ大麻、苧麻ト云フモノガ統計ノ基礎ニナツテ居リマス

○山本悌二郎君 私ハ極メテ簡單ニ御尋ネ致シタイノデアリマス、ソレハ絹織物ノ實際ヲ見マスト大概三割以上四割位ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、ソレデ此野蠶絲織タ天鷲絨トカ何トカ云フモノハ同ジ四割位ニナツテ居リマスガ、此野蠶絲ト云フモノ一割五分ノ稅ガ掛ツテ居ルコトニナリマス、清國ノ野蠶絲ヲ輸入シテ、ソレヲ以テ織リ來ツタ織物ハツマリ保護ト云フ側カラ云ヘバ、此四割ト云フモノハ一割五分ノ原料ノ輸入稅ヲ差引イタトコロノ一割五分ノ保護ヲ受ケテ居ルモノニ過ギナイト承知シテ宜シウゴザイマスガ、ソレカラ先刻農商務省ノ政府委員カラシテ野蠶絲ノ製造法ト云フモノハ内地ニ於テモ出來得ベキ見込ガアツテ、現ニ西ヶ原ニ於テ試驗シタコトモアルト云フ話デゴザイマスガ、是ハ要スルニ生産費ノ問題デアリマスガ、其時幾ラ出來上タト云フ計算ガゴザイマセウト思ヒマスガ、是ハ書類デモ宜シウゴザイマスカラ御伺ヒ致シタイ、ソレカラ其次ニハ野蠶絲織リマシタ「レース」天鷲絨ト云フモノハ獨逸カラ輸入シテ居ル同種類ノ織物ト競争シツ、アルモノデ、將來清國地方ヘデモ販路ヲ擴メル場合ニナルト、主トシテ外國製品ト大ニ競争シナケレバナラヌモノデサウデスガ、其際ニ原料ニ對シテ一割五分ノ稅ガ掛ツテ居ルコトニナルト、無論競争ガ困難ト見ナケレバナラヌ、斯ル場合ニ於テ日本政府「レース」トカ天鷲絨トカ云フモノハ、清國地方ニ於テ同一ノ製品ト競争シナケレバナラヌト云フ場合ニナリマシタナラバ、政府ハ原料ニ對シテ掛ツテ居ルコトコロノ一割五分ノ稅金ヲ戻ス、即チ戻稅ヲ實行スル考ガアルヤ否ヤ、ソレカラ清國カラシテ野蠶絲ヲ取寄セル場合ニ清國ノ輸出稅ガ十六圓ナニガシト云フコトヲ聞イテ居ル、ソレハ即チ百斤ノ野蠶絲ヲ製造スルダケノ分量ノ繭ニ對シテ、約十六圓ナニガシト云フ割合ソレダケ高イ稅ガ掛ツテ、隨ツテ負擔ノ多クナルトコロノ繭ヲ日本ヘ輸入シテ、サウシテ日本デ製造シナケレバナラヌタメニ三十幾圓ト云フ稅率ニナツテ居リマス、サウ致シマス二十幾圓ノ中繭ニ掛ツテ居ルトコロノ十六圓ナニガシト云フモノハ、清國ニ稅金ヲ拂フテ日本ノ織物ニ轉化スルヤウナ割合ニナリハセシカト思フガ、ソレモサウ心得テ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 野蠶絲ノ御問ヒデアリマスガ、野蠶デ織ツタ織物ハ四割トナツテ居リマス、ソコデ御尋ネノ如ク四割デモ一割ヲ引クカラ二割五分シカ殘ラヌデアリマス、割デ言フト左様ニナリマス、併シ四割ト云フモノハ絲ニ工賃ヲ掛ケテ即チ染メタリイロノノ工賃ヲ加ヘテ出來タトコロノ四割デ餘程從量稅ガ違ヒマス、故ニ必ズシモ一割五分、四割ト比較シテ二割五分ノ差シカナイト云フノハ相當デナカラウト思ヒマス

○山本悌二郎君 外ノ織物ハ四割ノ保護ヲ受ケテ居ルガ、此方ハ原料ガ一割五分掛ツテ居ルカラ四割カラ一割五分ヲ引イテ、二割五分ダケノ保護ニナル譯デセウ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) サウ云フ關係ニナリマス、ソレカラ輸出ニ就テ戻稅ト云

フコトハ餘程是ハ難シイモノト考ヘマス、若シ茲ニ野蠶絲ノミノ原料カラ製造スル工場ガ
アツテ、其處ニ使フトコロモノハ野蠶絲ノミデアルト云フヤウナ工場アルト假定シテ、野
蠶絲ノミデア物ガ出來マスト比較の簡便ニ行カウト思ヒマスガ、外ノ絹トカ綿絲トカラ
交ゼテ織ルコトニナルト餘程困難ト思フ、違フタ原料ヲ一々檢定シテ何ホ違フタカラ幾ラ
戻スト云フ、戻稅ノヤリ方ハ止ムヲ得ヌトキニハヤッテ居リマスガ、外國品ト内國品ト交ゼ
テ製造シタル云フモノニ戻稅ヲヤルト云フコトハ、餘程繁雜極ハマルモノニナルカラ、餘程
困難ト考ヘマス

○山本第二郎君 繭二十六圓ナニガシ稅ガ掛ッテ居ルガ、ツレハツマリ……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 繭ノ輸入稅ノ十六圓ト仰シタルノハ、定價五分ト見
テ宜イと思ヒマス十六圓ニナリマスカ十二圓ニナリマスガ、輸出稅ハ五分デアリマス無論
輸出稅ノアル以上ハツレハ負擔シナケレバナラヌト思フ

○山本第二郎君 ツレハツマリ轉讓シタルニナルノデスナ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) サウナラウト思ヒマス

○武藤金吉君 私ハ此實棉線棉及此綿織物等ニ付キマシテ簡單ニ質問ヲ致シタイト
思ヒマスガ、實棉ト線棉ノ無稅ノ入ルコトハ實棉モ線棉モ格別ノ差ハナイト思ヒマスケレド
モ、先刻政府委員ノ御答辯ニ依リマス、是等モ加工シタルモノ加工シナイモノトモ言ヘ
ルノデアリマスカラ、是ハマア措キマシテ綿絲ノ課稅率ハ此課稅率デ行キマシテ、内地ノ綿
絲紡績ハ政府ノ御見込デハ競争ニ堪ヘテ行クト云フ思召デ、是ハ御成案ニナッタノデア
ラウト思ヒマスガ、内地ハツレト致シマシテ綿絲ノ一番ノ得意場ハ支那デアアルノデアリ
マスガ、現在支那ニ於テ主ニ亞米利加デアリマス、其他モアリマスケレドモ日本トノ販路
ノ上ニ於テノ競争ノ模様及其販路ノ擴張ノ程度ト云フモノハ、ドンナ風ニナッテ居リマ
スカ、簡單ニ承リタイ

○委員長(野田卯太郎君) 是デ休憩ヲシヤウト思ヒマスガ、武藤君ノ今ノ質問ニ對
スル説明ダケハ保留シマシテ、此八類ハ此處デ終了シタモノトシテ、午後ハ九類カラヤリ
マス、尙午後ノ御都合ヲ相談シヤウト思フガ、本會ハサウ重大ノ問題モナイヤウニ思フカ
ラ、御説ノ通り此委員會ハナカノ面倒且能ク調ベニヤナラヌ重大ノ問題デアルカラ、本
會ニ照會シテ委員會ヲ開カウト思ヒマスガ、午後一時半カラ此處ニ御集リヲ願フヤウ
ニシタイ、且御相談ヲシテ置キマスガ、モウ明朝カラハ三分ノ一人ガ揃ヘバ質問會ヲ開キ
マスカラ、御異存ガナケレバサウ致シタウゴザイマス

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○委員長(野田卯太郎君) ツレハハ休憩致シマス

午後零時十四分休憩

午後一時二十九分開議

○委員長(野田卯太郎君) 開會シマス

○武藤金吉君 午前ニ保留シテアリマス 質問ニ同ジデアリマスカラ附加ヘテ質問ヲ致
シテ置キマスガ、此綿織物此綿織物等ノ「甲」「乙」「丙」ハ二ホ「ト」云フ順ガアリマス、此順
ハ太絲、中絲、細絲、ト云フ順デ、此順番ガ出來テ居ルモノト承知シテ居リマス、デ大
體カラ申シマス、政府モ此ノ綿織綿絲ニ付キマシテハ意ヲ用井ラレテ、此原案ヲ作ラレ

タヤウニ見エルデアリマス、併ナガラ同ジ一割デアッテ太絲、中絲、細絲ノ差額デアリマ
ス、此差額ハ何ヲ標準ニシテ繭百斤ニ付テ、斯ウ云フヤウナ差額ガ生ジタデアリマスル
カ、當業者ガ此綿絲業ニ對シテ稅ヲ課ス上ニ於テ、此標準ト云フモノガ一番當儀ル
モノト思フデアリマスルガ、此標準ニ付テハ斯ウ云フヤウニ勿論價ヲ標準トサレタデア
リマセウガ、値バカリニモ依ラヌヤウニ數字ガ見エテ居リマスガ、併セテ御答ヲ願ヒタイ
○政府委員(大久保利武君) 外國ニ於ケル綿絲ノ競争ノ模様ニ付テ御尋ネデアリマ
シタカラ大略御答致シマス、御承知ノ如ク此綿絲ハ近來非常ニ發達致シマシテ外國ニ餘
程輸出スルコトニナッテ、既ニ昨年ノ四十二年度ニ於テハ總體デ三千二百六十二萬圓カ
ラノ輸出ヲ見テ居リマス、此輸出先ハ何處デアアルカト云フニ是ハ支那ガ大部分デアリマ
ス、殆ド全部支那ト云ツデモ宜イ程デアリマス、所ガ支那ニ於テハ如何ナル競争ヲ受ケテ
居ルカト云フコトヲ申上ゲルニ付テハ、第一ニ支那ニドノ位ノ紡績絲ガ入ッテ、何處ヤ
カラシテドノ位入ッテ居ルカト云フコトヲ申上ゲタイト思ヒマス、支那ニ於キマシテハ昨年、
一昨年紡績ノ輸入高ガ五千六百萬、其前年ガ六千四百萬、是ハ前年ヨリモ減ッテ居
リマスルガ、此原因ハ銀貨下落ノタメニ支那ノ購買力ガ一般ニ減ッタメニ減ッテ
居ルノデ、年々支那ニ於ケル紡績絲ハ大體ニ於テ需用ガ増進スルタメニ輸入ノ高モ將來
益、増スデアラウ、デ其中テ此支那ニ於ケル前輸入ノ絲ニ對シテハ、ドノ國カラドノ位
入ルト云フコトニ付キマシテハ最モ多イノガ英國、印度デアリマス、是ガ當期ニ於テ二千萬
圓ニナッテ居リマス、其次ニ參ルノガ香港、是同ジク二千萬圓、其次ニ來ルノガ日本カ
ラノ輸入デ千四百萬圓、ツレニ次グノガ英國、是ガズツ下ッテ百二十二萬圓デアリマス、
是等ガ支那ニ對スル綿絲ノ輸入スル主ナル國、ソレカラ其輸入額デアリマス、此ノ如ク分
レテ居リマスルガ、併シ此香港カラ入ルモノハ大部分ハ同ジク印度カラ香港ニ入ッテ、而
シテ香港カラ再輸出ヲスルノガ大分入ッテ居リマス、ツレデ印度カラ直接輸入シタルノガ先
程モ申シマシタ如ク二千萬圓デアリマス、香港カラ入ッテ二千萬圓ノ中、其中十中
八九ハ印度ノ綿絲デアリマス、ツレデ約三千六百萬圓印度カラ綿絲ノ輸入額ニナッテ居
リマスルカラシテ、輸入ノ額ニ於テモ印度紡績絲ハ非常ナル優勢ヲ占メテ居ルト云フコト
ハ是デ分ル、此ノ如キ輸入ノ狀況ニナッテ居ルデアリマス、所ガ支那ニ於テハ此紡績
絲モ御承知ノ如ク、太絲細絲カラズツト小サイ絲マデ非常ナル種類ニナッテ居リマス、
大抵支那ニ於テ一番多イ絲ノ大キサハ二十番内外ガ最モ多イ、一番多イノハマダ太ク
ナリマス、是ガ支那ニ需用ノ多イ譯デアッテ、日本カラ行ク紡績絲ガ十手乃至二十手ト
云フ範圍ガ最モ多イノデ、印度カラ入ルモノ之ニ匹敵シテ同ジ種類ノ物ガ入ルノデアリ
マスカラシテ、支那ニ於テ最モ競争ノ激シイハ日本ノ絲ニ對シテハ印度絲デアリマス、
此印度絲竝ニ日本糸ガドウ云フ狀況デ増シテ行クカト云フノニ、年々ニ依ッテ増
減モアリマセウケレドモ、共ニ印度絲モ日本絲モ年々増シテ行ク趨勢ヲ保ッテ居ルノデアリマ
スカラシテ、日本絲ガ印度絲ニ對シテハ非常ナル強敵デアル、將來最モ生産費ヲ廉クシテ品
物ヲ善クシ、値ヲ廉クスルト云フノガ勝ヲ占ムルハ當然デアリマス、此點ニ付テハ日本ノ
當業者モ心配シテ販路ノ擴張ニ勉メテ居ルデアリマス、既ニ兩三年前ヨリ銀貨下落ノタ
メニ支那ノ購買力ガ減ッタ、日本ノ絲ノ如キハ餘程逆境ニ陥ッタ、一昨年カラ繰業短縮
又ハ夜業廢止ト云フ問題モ起ッタイデアリマス、或點マデ起ッテ且輸出ノ獎勵モ行ッテ居ル

次第アツテ、印度絲ニ對シテ餘程競争上苦心經營シテ居ル有様アリマス、併シ支那ニ於ケル紡績絲ノ將來ト云フコトハ御承知ノ如ク三億萬以上ノ人口ガ殖エテ居ル處デアリマスカラ、マダノ紡績絲ノ需用ト云フモノガ前途ナカク多イデアリマス、殊ニ又太絲ヲ支那デハ作ルマデ、細絲ヲ拵ヘテ居ルモノガ多イデアツテ、マダノ販路ノ擴張ト云フコトハ多イデアリマスカラ、日本ノ紡績業者モ種々ナル方法ヲ設ケテ販路ノ擴張ニ勉メ、成ルダケ生産費ヲ廉クシテ印度絲ニ對シテ遜色ノナイヤウニ出デシムル十分見込ガアツテ居ルデアリマスガ、併シ從來餘程政府ニ於テモ獎勵ヲ希望シテ居リマス、即チ關稅ノ割方ニ於テモ紡績機械類ハ出來得ルダケ低イ稅ヲ課シ、原料ノ如キハ無稅デ入レルト云フヤウナ方法ヲ取ツテ來テ居リマス、又當業者間ニモ聯合會ヲ設ケテ種々聯合一致シテ事業ノ擴張トカ、生産狀況ノ改良トカ云フコトニハ努メテ居ツテ、支那貿易ノタメニヤツテ居ルト云フ譯デアリマス、大體サウ云フ狀況デアリマスカラシテ、尙御尋ネニ依リマシテ御答ヘスルコトニ致シマス

○大藏技師(矢部規矩君) 大藏省ニ於テハ線織絲ノ番手、且分類ニ對スル價額ニ付テハ數年前カラ調査ヲシテ居リマスノデ、此前ノ三十九年ノ改正ニ於テハ荻野代議士カラ質問ガアリマシテ番手デ分ケル方ガ適當デアリナカト云フ質問ガアリマシタ、其際大藏次官ハ番手デ分ケルコトノ適當デアルト云フコトハ認メテ居ルガ、尙調査ヲ十分續ケテ此次ノ改正ノ時ハ番手デ分ケルコトニシヤウト云フコトデアリマシタ、爾來調査ヲ續ケマシテイロノ統計ヲ取ツテソレヲ參酌シテ此案ガ出來マシタ、各分類ニ對スル價額ハ四十一年ノ價額デ取ツテ居リマス、四十一年ノ平均價額ヲ出シマス「イ」ガ五十八圓「ロ」ガ六十四圓「ハ」ガ九十五圓「ニ」ガ百十圓「ホ」ガ百五十圓トナツテ居リマス、此價ト云フモノハ前年度タル即チ四十年ノ平均價額、若クハ後ノ年即チ四十二年ノ平均價額ニ比ベテモ穩ナトコロデ大抵類似シテ居リマス、尙當業者ノ意見ヲ聞キマシタラ大體此位ノモノデアラウト云フコトデアリマシタ、併シ「ホ」其他ト云フノハ範圍ガ空漠デアツテ此先キ隨分廣イ範圍ニナツテ居リマスカラシテ、輸入スル絲ト云フモノハ大體ニ於テ少ナイ種類ニ止ツテ居リマシテサウ廣クハナイデアリマス、併シ百番手位ノ絲若クハ百番手以上ノ絲モ入リマスカラ其絲ノ入り方ニ依ツテ「ホ」價額ガ變動シテマスガ、現今ノ入ル景況ニ於テハ、百五十圓ト云フモノハ平均上不適當ナ價デアナイト考ヘテ居ルデアリマス

○武藤金吉君 サウ致シマス、政府ノ御見込デハ當業者ガ細絲ヲ拵ヘルノ太絲ヲ拵ヘルノトニ付テ、工業上ニ於テノ利益ハドウ云フ風ニ政府ハ見テ居ラレマスカ

○政府委員(大久保利武君) 利益ノ計算デスカ

○武藤金吉君 大體太絲ノ利益ガ多イカ細絲ノ利益ガ多イカトナラガ多イカト云フデアリマス

○政府委員(大久保利武君) 太絲ガ利益ガ多イカ細絲ガ利益ガ多イカト云フ御尋デアリマスルガ、是ハ一ニ需用如何ニ依リテ定マル問題デアリマシテ、唯今日本ノ紡績デハ重ニ太絲ガ生産サレテ居ルデアリマス、今デハ殆ンド全國ノ需用ヲ充タシ、進シテ支那ノ方ヘモ販路ヲ進メツ、アルト云フ狀況デアリマスガ、マダ細絲ハ餘リ發達シテハ居リマセヌ、太絲デモ細絲デモ六十番手、八十番手内外ノモノガ一番發達シテ居ル、其位

ノ紡績絲ガ多イデアリマス、百番手以上ノモノハ出來テ居リマセヌ、ト云フノハ細絲ハ織物ノ緻密ナ織物トカ特殊ナ好イ織物ニ多ク用非ラレルノデ、細絲ト云フモノハ需用ガマダ太絲ノ織物ホドニナイノデ發達シテ居リマセヌ、稅ノ立テ方デモ八十番手以上ノモノハ七分五厘デアリマス、マダ内地デハ八十番手以上ノモノハ餘リ出來マセヌノデ、特殊ナ織物ノ原料トスルニハ海外ニ輸入ヲ仰イテ原料ヲ使フト云フヨリ今ノトコロデハ已ムヲ得ヌデアリマスカラ、斯ウ云フ風ニシテ居リマス、併シ唯今デハ紡績會社ノ中デモ段々細絲ヲ拵ヘル狀況ニハナツテ居リマスケレドモ、何分ニモ需用ガ太イ絲ホドナイノデ、從ツテ會社ノ經營ト云フコトモ追々ハ進シテ行カウト思ヒマスガ、今ノトコロデハ八十番手以上ノ絲ト云フモノハ餘リ出來テ居ラズ、又經營ヲ試ミタト云フコトモ少ナイデアリマス、一ニ需用如何ト云フコトニ依ツテ利益ノ有無ト云フコトモ極ツテ行クコトデアラウト思ヒマス

○武藤金吉君 サウシマス、大體カラ内地ノ綿絲ノ紡績事業ハ現在ヨリ此稅率デ行ケバ、尙發達シテ行ク御見込ト承知シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(大久保利武君) 御問ヒノ通りデアリマス

○委員長(野田卯太郎君) 第九類ニ付テ政府委員ノ大體ノ説明ヲ求メマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 九類ハ布帛及布帛製品デアリマシテ、此九類ノ中ニハナカノ澤山ナ品目ガ入ツテ居リマス、ソコデ此稅ノ標準ハ他ノ類ニ入ツテ居リマス品物ト比ベテ改正案ニハ餘程改正ヲ加ヘタ點ガ多イデアリマス、先ヅ木綿ト麻ト交ツタ織物ト云フヤウナモノハ大體二割ノ標準ニ致シタデアリマス、是等ノ織物ハ現行ノ國定稅率デハ大體三割トナツテ居リマス、故ニ國定稅率比ベテ一割減ラシタコトナリマスガ、又是等ノ織物ニハ大抵一割ト云フ協定稅率ガアリマシテ、現今既ニ行ハレテ居ルデアリマス、故ニ現行ノ實施シテ居ル稅率ニ比ベルト一割カラ二割ニ上ルト云フコトナリマス、ソレカラモ織物又毛ト綿ノ織物、斯ウ云フモノハヤハリ現行ノ國定稅率ハ三割デアリマスガ、是ハ今度ノ改正案ニ於テハ大體二割ノ標準ヲ取リマシタ、是モ外國トノ協定ガ多クアリマス、其外國トノ協定稅率ハ凡ソ從價一割トナツテ居ルデアリマス、ソレカラ絹ノ交ツタモノハ御承知ノ通り絹ハ他ノ織物ト違ヒマスカラ一段稅ヲ高メテ居リマス、又絹ト毛其他ノ交ツタ織物ハ大體四割、斯ウ云フ標準ヲ執ツテ居リマス、大體四割ノ標準ハ現行ノ國定稅率ト今度ノ改正案ト大體ニ於テ同ジデアリマス、ドチラモ四割、是ニモ多少ノ外國トノ協定稅率ハアリマスガ是ハ餘リ多クハアリマセヌ、其協定稅率ハヤハリ一割ガ標準ニナツテ居リマス、ソレカラ先ノ方ニ接排シテアリマス「コ」品物ハ多クハ織物デアリマス、織物ニ加工シテイロノ細工ヲシタモノデアリマシテ、是ハツマリ加工ノ程度カラ言ヒマス、單ニ織ツタ物ヤ何カヨリ一段稅率ヲ課シテ宜カラウ斯ウ云フコトデ、三割乃至三割五分トナツテ居リマス、ソレカラ其次ニ行キマス「布帛」製品、布帛デ以テ造ツタ品物、例ヘバ「テーブルクロス」或ハ窓掛デアルトカ、イロノ「ナモノ」ガアリマスガ、サウ云フモノハ最早全製品デアツテ稅ノ上カラ云ヘバ、無論單純ナ織物ヨリモ高クテ宜イト云フノデ四割位ノ見當ニナツテ居リマス、而シテ絹ヲ使ツタモノニ對シテハ五割ト云フ稅ガ接排シテアリマス、ソコデ稅率ノ標準ハ大體左様ナコトデアリマスガ、課稅ノ標準ト云フニ付テハ現行ノ稅率ニ依リマス「往々商品」ノ名ガ使ツテアリマス、毛織物デ言ヒマス「アルバカ」

極「テ」居リマスガ、今度ノ改正案ニ依リマスト、木綿織物、麻、木綿ハ麻ノ交ゼ織物、絹
 トカ毛トカ云フ風ニ大別致シマシテ、サウシテ木綿織物ヲ又細別致シマシテ、其細別ノ
 仕方ハ二百十八カラ御覽ニナリマスト分リマスガ、始ノ方ニハ織方ノ特別ナルモノヲズッ
 ト出シマシテ、即チ天鵞絨織方、縮トカ斯ウ云フ特殊ノ織方ノモノヲ舉ゲテサウシテ税
 率ヲ相當ニ嵌メ、其次ニハ今度ハ平織、ツレカラ紋織、其他斯ウ云フ風ニ分ケマシテ平
 織ノ中ヲ又織「タ」儘ノ生地ノモノ、ツレカラ晒シタ物、染メタ物、斯ウ云フ風ニ分ケマス、又
 紋織物ノ中デモ生地ノ物、晒シタ物、染メタ物、斯ウ云フ風ニ區分シマシテサウシテ段
 段細カク分ケテ行キマシテ、生地ノモノ又數等ニ分ケマシテ、其分ケ方ハ織物ノ一定ノ
 寸法ヲ取りマシテ其目方ヲ量ツテ、ツレカラ一定ノ寸法ノ中ニ經絲緯絲ガ何本デ織ツテ
 アル、斯ウ云フ數ヲ勘定シテ、サウシテ目方ノ方ト絲ノ數ノ兩方カラ現ハシテ行キマシテ、
 値段ニ相應スルヤウナ從量税ヲ出シタデス、ツマリ細絲デ織ツタ精巧ナル織物ハ一定ノ寸
 法ノ面積ニ絲ノ數ガ多イ荒イモノナラバナイ、太イ絲ナラハ自然糸ノ數カナイ、斯ウ云フ

關係カアリマスノデ、其關係ヲ見テ例ヘバ綿織物デ言ヒマス、甲ノ生地ノモノノ甲ノ一ツ中ニハ十九ヲ超ヘザルモノ、此ハ五耗平方ト云フト極ク小イ寸法ノ中ノ經緯ノ絲ノ數ヲ數ヘテ十九ト云フ數ハ、誠ニ荒イ織物デアアル、粗製ナル織物デアルト云フコトガ自然ニ分ツテ來ル、ツレガ段々絲ノ數ガ増シテ來レバ細イ絲デ良イ織物デアレバ値ガ段々高メル、ツレニハ百斤アタリノ價ヲ増シテサウシテ均衡ヲ取ツテ大體二割ヲ標準ニシテ均衡ヲ取テ居ル、斯ウ御話ヲスレバ皆此理屈デヤツテ居ルト云フコトガ御分リデアラウト思フ、是ハ本綿織物デアリマス、ツレカラ木綿ト麻ノ交ツタ物モ大體今申上ゲタヤウナ標準デヤツテ行キマス、サウシテ毛織物ニ行キマスト毛織物ハ是ハ經緯ノ絲ノ數ヲ見デヤリマセヌ、是ハ一定ノ寸法ヲ切り取ツテ其目方ヲ量リマシテ其目方ノ重イ輕イニ依ツテ自ラ稅率ヲ按排シマス、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、先ヅ目方ト數デ以テ價格ニ相當スルヤウニ稅率ヲ按排致シマシタノガ、是ガ非常ニ骨ノ折レタ話デアリマシテ、數年間掛ツテ外國カラ入ツテ來マス幾十百種ノ織物ヲ一々見本ヲ取リマシテ、一定ノ寸法ヲ見テハ目方ナリ絲ノ數ヲ勘定シテ、サウシテ絲ノ値段ハ幾ラデアアル、サウスレバ此割ハ幾ラニナルト云フ統計ヲ數年間掛ツテ取ツタノデス、サウシテ是ガ先ヅ適當ナル標準デアラウト云フコトニ考ヘマシテ、今回改正案ヲ提出致シマシタノデス、所デ此木綿ノ織物ハ大體二割、木綿其他ノ交織モ大體二割デアリマスガ、毛織物ニ至リマスト大體二割五分ノ標準ニ致シマシテ、是ハ御承知ノ通り毛織物ハマダ日本ニ於テハ甚ダ幼稚デアリマス「モスリン」「トカ」「フラネル」「トカ」云フヤウナモノ羅紗ノ如キモ多少ハ出來マスケレドモ、マダ／＼毛織物ノ製造業ガ起ツテ日ガ淺イモノデスカラ、ドウシテモ外國ノ品物ニハマダ／＼及バヌ點ガアリマス、斯樣ナ點ヲ以テ是ニハ五分バカリ稅ヲ上ゲテ、即チ内地ノ毛織物ノ製造業ノ守リ立テルヤウニ考ヘタ譯デアリマス、其以外ノ絹ノ入ツタ物ハ高イ稅ヲ掛ケルト云フノハ、絹ト云フモノニ付テハ高クスルガ宜イト云フコトカラ起ツタノデアリマス、其他製造品ニナリマシテハ是ハモウ直グニ使フモノデアリマス、直ニ使フ物デアリマスカラ之ヲ三割五分、四割、贅澤品ノ如キモノニ至ツテハ五割、斯ウ云フ稅率ヲ按排致シマシタ、ゴクザツト説明ヲ申上ゲテ尙御質問ニ依ツテ御答致シマス

○武藤金吉君　此帛布及帛布製品ニ付キマシテ唯今課税ノ標準ノ御説明ガアリマシタガ、私モ大體ノ課税ノ標準ヲ伺ツテ置イテ、ツレカラ明細ノ質問ヲスル方ガ宜カラウト思ヒマス、御承知ノ通り織物ハ毛織物、絹綿交織、毛綿交織イロ／＼アリマスガ、毛織物ニ對シテハ内地ノ毛織物ノ近來ノ發達ハ著シイモノデアルガ、此内地ノ毛織物ノ發達ヲ圖ルト云フ方針デ此税率ヲ課セラレタカ否ヤ、絹織物若クハ絹毛交織、毛綿交織等ニ付テハ私ハ唯今ノ御説明デハ満足スルコトガ出來ナイ、何故ナレバ織物ハ必シモ絲ノ分量バカリヲ標準ニシテ價ヲ定ムベキモノデハナイ、殊ニ世界織物ノ中心ハ佛蘭西、英吉利、亞米利加、近來ハ亞米利加デアリマスガ、是等ハ絹絲ノ値段ヨリハ其意匠、染色等ガ價ノ標準デアリマス、唯今櫻井君ノ御説明ニ依リマスルト一本々々經絲緯絲ヲ検査シタ結果稅ヲ課シタト云フコトデアリマスガ、流行品、美術品ニナツテ來マスト絲ヨリモ染色、技巧等ニ重キヲ措クコトニナツテ居リマス、成程政府當局モ御苦心サレタニハ相違ナイガ、サウ云フコトヲ見込ンデ課税ノ方針ヲ定メラレタヤ否ヤ、先ヅ以テ伺ツテ置イテツレカラ明細ノ質問ヲスル方ガ宜カラウト思ヒマスガ是ダケ質問シテ置キマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 毛織物或ハ毛綿ノ交織物ニ付テ二割五分ノ稅率ヲ定メタト云フコトハ、前回申上ゲタノデアリマス、木綿ノ織物ヨリモ日本ノ今日ノ毛織物ノ狀態ガマダ進シテ居ラナイト云フ點ヲ見タノデアリマスカラ、木綿織物トハ差ヲ付ケテアリマス、課稅ノ標準ヲ織物ノ目方ト絲ノ數ニ取ツタト云フバカリデハ十分權衡ヲ得ナイト云フ御問デアリマスガ、此稅率ヲ極メマスニハ外國カラ是マデ入ツテ來テ居リマストコロノ各種ノ織物ノ見本ヲ一々取ツテソレヲ唯今申ゲタヤウナヤリ方デ目方ヤ絲ノ數ヲ數ヘル、ツレカラ其織物ノ平均價額ヲ見テ百斤當リノ値段ヲ出シタノデアリマスカラ御說ノ如キ精巧ノ織物デアレバ、ヤハリ高い稅率ガ現ハレテ來ル、ツレデ釣合ガ取レル、但シ茲ニ御斷リシテ置キマスノハ能ク例ニ出マスガ、西陣ノ一本何百圓モスルト云フモノニナルト、是ハサウハ行キマセヌ、サウ云フモノハ從量稅ニ行キマセヌカラ從價稅ニシテアル、刺繡ヲシタモノデアルトカ云フ美術工藝的ノモノニナツテハ、目方寸法ナドデハ行キマセヌカラ、從價ノ幾ラト云フコトニナツテ居リマス、大體ノ絲ノ數ト目方、ツレカラ染メタ物、染メナイ物、形ヲ付ケタ物、晒シタ物ト云フヤウナ區分デヤツテ行キマスレバ値段ニ相當スルヤウニ幾ラト云フコトガ出テ來マス、ツレデヤツテ參ツタ積リデアリマス、ツレデ二割ト織物ヲ致シマシタノハ、八類ノ原料ニナルトコロノ絲ノ木綿、麻ト云フヤウナモノハ一割乃至一割五分デアリマスカラツレトノ釣合ヲ取ラナケレバナラヌ、其絲ヲ以テ織ツタモノハツレヨリ稅ガ高クナラナケレバナラヌカラ、大體此位ノ見當デ相當デアラウト云フコトニ致シマシタ、概括シテ申上ゲマスト唯今申シタ位ナコトデアリマスガ、品物ニ付テドウ云フ物ハ何處ニ當テルト云フコトヲ御覽ニナルト云フト、大抵是デ二割ニ相當スルヤウニ從量稅ガ出來テ居ルノデス

○武藤金吉君 ツレハ明細ニ尙尋ネル積リデアリマスガ、第一課稅ノ標準ヲ今聞カヌト云フト質問モ出來マセヌカラ順序トシテ聞イタ、モウ一ツ大體カラ聞イテ置キタイノハ織物ハ年々變化スルモノガアル、又新シク發明サレルモノモアル、是等ノモノハヤハリ之ニ書イテナイモノモアリマスケレドモ、政府ノ見込デハ若シ新シイモノガ入ツテ來、發明流行トカアル場合ニハ新タニ項目ヲ舉ゲテ之ニ似寄ツタモノデ課稅スル積リデアリマスガ、更ニ

國定稅率ヲ勅令デ、モ極メテ行ク積リデスカ其方針ヲ伺ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 此課稅標準ハ織物ノ組織標準ガ取ッテアリマスカラ新シイ物ガ參テモ之ニ當嵌メテ行クコトニナリマス、一例ヲ申シマス「アルパカ」ト云フ織物ハ稅ガ何程ダト云フ稅表ガアル、所ガ「アルパカ」ト云フハ本來ヲ言ヘバ「アルパカ」ト云フ動物ノ毛デ織ツタモノニ相違ナカッタ、所ガ昨今デハ商賣上デ「アルパカ」ト云フハナカク範圍ガ擴テ來テ、「アルパカ」デナクテモ似タ物ノ毛デ織ツタモノハ皆「アルパカ」ト云フコトニナツテ來タ、ソレデ商品名ヲ取ツタメニナカク其區別ガムツカシクナツテ來タ、「セル」地ト云フテモ羅紗ノ「セル」地ト云フヤウナ譯デ、商品名ヲ擧ゲテ置クト只今武藤君ノ御話ノ通りノ新發明ノ物ガ來マス甚ダ困ル、此組織デ行キマス、何ト商品名ヲ付ケテ來テモ宜シイノデス、是ハ「アルパカ」デアル「アルパカ」デ無イト云フヤウナ爭ヒハ起ラヌコトニナリマスカラ、新シイモノガ出テ來テモ之ニ當嵌メテ稅ヲ取ツテ行クコト云フコトニナリマスカラ、餘程簡明ニナルドラウト思ヒマス

○武藤金吉君 ソレカラ此部類ノ中ニ例ヘバ紐デアルトカ、編物ガ含シテ居ルト書イテアリマスガ、又履物ニ使フモノデアルト云フヤウナモノモヤハリ含シテ居ルノデスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 是ハ編物ハ包含スト上ニ書キマシタ、編物ハ此中ニ入レテアリマス、丁度御問ヒノ紐ハ三百三十一ニ入リマス、ソレカラ織物デハアリマセヌガ、「デール」ノ「グロース」斯ウ云フモノモ此中ニ入ッテ居リマス、ソレカラ其大小ナツモ此中ニ入ッテ居ル、編物デアリマス

○武藤金吉君 此「フランネル」ニ付テ御尋ネテ致シタイと思ヒマスガ、「フランネル」ハ現今輸入サレテ居リマス額ハ何程ダツテ、ソレカラ又内地ニ之ニ類似シテ出來ルモノハ何程デアル、ソレカラ「セル」デアリマス、純絹「セル」ソレカラ毛絹ノ模造シテ居ル「セル」近來ノ内地ニ於ケル出來方、又輸出サレルトコロノ額、其狀況等ヲ先以テ承リタイ

○政府委員(大久保利武君) 先程毛織物ノ二割ト云フ稅ガ毛織物業ノ發達ヲスルニ付テ十分デアルカト云フ御尋ネデ、毛織物ノ二割ト云フ稅ガ毛織物業ノ發達ヲスルキマス、毛織物ノ狀況ハ概シテ申上ゲルト、未ダ日本デハ十分基礎ガ出來テ發達シタト云フコトハ言ヘナイ狀況ニアリマスカラ、併シ年々多額ノ羊毛ヲ外國カラ入レテ年々逐テ發達シテ居リマスカレドモ、未ダナカク基礎ガ出來テ外國ニ毛織物ヲ輸出スル狀況ニ至ッテ居リマセヌ、御承知ノ如ク羅紗又「セル」ト云フモノ、製造ニ付テハ東京ニ二箇處、大會社ガ出來テ其業ニ從事シテ居リマス、併シ主ニ陸海軍ノ製品トカ監獄、警察官用トカ、或學校生徒ノ服トカト云フ極ク一部ニ限定サレタ注文ニ依ッテ漸ク其經營ヲ維持シテ居ルト云フ位ノ有様ダツテ、概シテ云フト中以下ノ品物デ中以上ノ製品トシテハ未ダ内地デ出來ルト云フ狀況ニ至ッテ居リマセヌ、次ニ「モスリン」、「モスリン」ハ近年發達シテ來タ毛織物デアリマスカレドモ、是トテ東京、大阪、ソレカラ栃木ニ「モスリン」會社ガ創設サレテ漸ク内地ノ需用ノ一部分ヲ供給シヤウト云フ狀況デアリマシテ、年々二百万圓内外ノ輸入ヲ受ケテ居ル狀況デアリマス、此毛織物等ハ將來有望ナモノトシテ十分獎勵シテ往キタイ方針デ居リマス、此二割五分デ毛織物業ガ發達ガ出來ルカト云フ御問ヒニ對シテハ、ソレデ先ヅ可ナリニ出來テ往クト云フ見込デ居リマス、御承知ノ如ク唯今デ一割ニナツテ居リマスガ、二割ニナレバ十分相應ノ保護ガ出來ルト見テ居リマス、

併シ品物ノ極ク良イ羅紗、「セル」ト云フモノヲ造ルニハ未ダナカク是デハ保護ト云フ目的ヲ達スルトハ見テ居ラヌノデアリマス、急激ニ内地デ十分ノ經驗モナイノニ長ク成績ヲ舉ゲルト云フコトニナルノハ餘リ消費者ノ上ニ付テ好マヌ話デアリマスカラ、當分二割五分ニ於テ發達ノ出來ルモノト見込シテ居リマス、ソレカラ武藤君カラ毛織物ノ外國ニ輸出スル狀況ニ付テ御尋デアツタと思ヒマスガ、輸出ノ狀況ヲ御答致シマス、唯今申上ゲタ如ク未ダ比較的幼稚ナ狀態デアリマスカラ輸出品トテナイノデアリマス、輸入シ居ル高ヲ申上テマスレバ此表ガ御手許ニ皆差上ゲテアルト思ヒマスガ、御尋デアリマスカラ申上テマスガ、羅紗及「セル」ハ昨年四十一年ノ輸入總額ガ四百三十九萬圓、ソレカラ「モスリン」ガ四十一年ニ二百十八萬圓「フランネル」ガ四十一年ニ五十餘萬圓、先ヅ主ナモノハ斯ウ云フモノデアリマス

○委員長(野田卯太郎君) 外務次官ニテヨット御尋シテ置キマスガ、今度ノ稅率ハ從量稅デ稅率ヲ主ニ定メマスガ、此價格ガ高クナラヌト見ヌナラバ、此從價カラ換算シタモノデアリマスカラ、モウ直ニ變ヘタトキカラ稅ヲ取ツテ宜イデセウナ

○政府委員(石井菊次郎君) 此從價カラ從量稅ニ換算シテ、換算シタラ直ク其時カラ稅ヲ取ルカト云フ……

○委員長(野田卯太郎君) 抑是ハ從量デ主ニアルケレドモ、現今ハ從價カラ換算シタ從量デ一割トカ一割トカ此表ニアル如クナツテ居ル、ソレデ武藤君ノ問フタ如ク此價格ガ變動スルモノデ、一割デアツテモ今日ノ二割ト來年ノ二割ト違フカモ知レヌ、主ニ是ハ騰貴シタ場合ヲ私ハ問フテ居ルガ、其トキハ例ヘバ今日ノ二割四十圓掛ケデアツテモ、來年ノ二割ハ五十圓ニナツタラ十圓増シテモ其トキカラ徵收シテ聊カ差支ナイカ

○政府委員(石井菊次郎君) ソレハ條約關係ニ於テハ、聊カ差支ナイヤウニ思ヒマス

○委員長(野田卯太郎君) ソレデカ聽イテ置ケバ宜シウゴザイマス

○藤井善助君 私ハ此三百二十五ノ「タール」ニ付テ伺ヒタイノデスガ、關稅ノ沿革ヲ見マスルト此目前ノ改正サレタ時ニ二割デアツタモノガ四割ニ改正サレテ居ッテ、ソレガ現行率トナツテ居リマスガ、ソレヲ今度ハ二割五分ニ下ゲテ居ラレルノハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 藤井君ノ御尋デアリマスガ「タール」ハモウ殆ド外國カラ入リマセヌ、日本デ相當ノ物ガダンノ織出サレテ、而シテ外國ニマデ押出シテ行ッテ居ルト云フヤウナコトデアリマスノデ、是マデハ四割ト云フ稅率デアリマシタケレドモ、サウ云フ狀況ニナツテ居レバ、斯ウ云フ品物ハサウ特ニ高クナクテモ宜カラウ、モウ此位デ十分行ケルドラウ斯ウ云フ考デ、ソマリ僅カデアリマスガ少シ低ク致シマシタ

○藤井善助君 最近ノ輸入シマシタ年額ハ分リマセウカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 極ク最近四十一年一月カラ六月マデニ四百四十二圓、殆ド無イト云フテモ宜シウゴザイマス

○委員長(野田卯太郎君) モウ大概盡キマシタヤウデアリマスガ十類ニ移ッデハ如何デスカ

(「宜シウゴザイマス」ト呼フ者アリ)

○委員長(野田卯太郎君) 十類ニ移リマス政府委員ニ説明ヲ求メマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 第十類ハヤハリ現行ノ類別ト大體變リマセヌ、此處ニ

網羅シテ居リマス、品物ハ御覽ノ通りノ品物デアッテ何レモ是ハ純製品デアリマス、直チニ消費スルトコロノ物ガ多イデアリマス、而シテ此中ニハ奢侈品モ入ッテ居リマスレバ、又嗜好品ト云フベキ物モ入ッテ居リマス、ソレデアリマスカラ大體十類ノ稅率ハ是マデノ類別ノ物ヨリ高ク定メテアリマス、即チ四割、特殊ノ理由ノ物ハ別デアリマスガ、大體申シマスト四割、贅澤品ニ至ッテハ五割ト云フ稅率ヲ配置シテ居リマシテ、是ハ現行國定稅率即チ大部分ハ國定稅率今日行ハレテ居リマス此稅率ヲ、餘リ變更シテ居リマセヌ、唯物ニ依テ少シバカリノ増減ハ致シテアリマス、大體現行……實際行ハレテ居ル國定稅率ニ基キテ稅率ハ出來テ居リマス

○委員長(野田卯太郎君) 質問ガナケレバ第十一類ニ移リマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) ソレハ第十一類ノ大體ヲ申上ゲマス、第十一類モ類別ハ大體現行ト似テ居リマス、即チ紙ノ製品ト云フモノヲ包含シテ居リマス、ソレデ是ニハ紙ニ付テハ御承知ノ通り現行協定ガ行ハレテ居リマス、協定ノ標準ハ從價ノ一割カラ出テ居リマス、ソコデ今回ノ稅率ヲ定メマスルニハ現行協定ノ關係ト現行國定ノ關係トハ彼此對照致シマシテ、茲ニ相當ナル稅率ヲ定メ考ヘデアリマス、即チ普通大體ノ紙ニ付テハ二割、ソレカラ其紙ニ幾分工程ヲ加ヘタ物ハ稅率ヲ稍々上ゲテ、ソレカラ其紙ヲ以テ造ッタコロノ製品ニ至リマシテハ三割、四割、斯ウ云フ稅率ヲ設ケデアリマス、併シ此十一類ノ終ヒノ方ニ列舉シテアリマストコロノ書籍、設計圖、海圖ト云フヤウナ品物ニ至リマシテハ、是ハ又此モノニ特別ノ理由ガアリマストデ、是ハ從來通り無稅トナッテ居リマス、先大體是ダケノモノデゴザイマス

○森田勇次郎君 三百六十二ノ印刷料紙、是ニ付テ承リマスガ、印刷用紙ノ中ノ此「ニ」乙ツレヲ尙區別シテ「イ」「ロ」トシテアル中ノ「イ」デアリマス、「一平方メートル」ノ重量五十八グラムヲ超エサルモノ「是ハ從前ノ稅率ト今回ノ改正率ト更ニ變リハナイヤウデアリマスガ、其他ノ方ハ皆印刷料紙ノ中ハ多ク二倍若クハ三倍ニナッテ居ルノガアリマス、其中ノ乙「イ」ト云フノハ是ハ新聞用紙デアリマシテ、ツマリ重量ノカ、ル方ノ側多クハ新聞用ニ使フ、即チ知識ヲ廣メルト云フ類ノ側ノ紙デアリマスカラ、是ハ稅率ヲ低クサル、ト云フヤウナ趣意デアラウト見受ケマスガ、併シ書籍、或ハ雜誌ノ印刷用ニ使ハル「ロ」ト云フ方ノ側ハ、新聞ト同ジク知識ヲ廣メル教育上極メテ必要ナル方面ニ使ハル種類ノ紙デアリマスカラ、是モ新聞紙ト同ジヤウニ、此低イ率デ以テヤルト云フノガ當然デハナイカト思フ、殊ニ新聞用紙デアリマスレバ、是ハ日本ノ製紙事業ガ非常ニ進ミマシテ輸入ノ紙ヲ仰ガストモ、今日ハ殆ド此内地ノ製品デ以テ十分需用ニ應ズルダケノモノガアル、尙將來ハ一層擴張スベキ見込ガアルト思フ、之ニ反シテ此雜誌用或ハ書籍印刷用ニ使フ方ノ紙ハ、又輸入ヲ用井テ居ル方ノ側ガ多イノデ、内地デハ餘リ其方ニハ手ヲ擴メテ居ラス、詰リ内地ノ製紙事業ノ上カラ考ヘマシテモ、内地デ十分發達シテ居リ尙將來一層發達スル見込ガアル、所ガ製紙業者間ニ競争ヲ起ルヤウナ位デ、新聞紙用ノ側ノハ從來ノ儘ニ据ヘ置イテ、今日ハ内地ニ於テハ餘リ多ク作ラヌ「アイトベーパー」ノ如キ、或ハ雜誌書籍ニ挿入スルトコロノ種々ノ紙ノ如キモノハ、是ハ稅率ヲ高クスルト云フ事柄ハ、此紙ニ對スル關稅ノ方針トシテ却テ顛倒シテ居リハセヌカト思ヒマス、殊ニ印刷用紙ノ如キ「アイトベーパー」ノ如キハ、殆ド是ハ日本デ作ラナイ、雜誌ノ

口繪ナドニ用井ル紙、ソレカラ二ノ書籍ノ側モ之モ餘リ日本デ作ラナイ紙デアアル、寧ロ輸入品ガ多イデアリマス、サウ云フ類ノ品物ハ稅率ヲ低クシテ外品ト競争ヲシヤウト云フ方ノ紙ノ輸入ノ稅率ヲ高メルト云フ事柄ガ、既往ノ十類マデノ間ニ説明セラレタ理由ハサウ云フ趣意ニナッテ居ルト思ヒマス、其趣意デアレバ受取レマスガ、此十類マデノ御説明ト丁度正反對ノヤウナ積リ方ト思ヒマス、又内地ノ製紙事業ノ上カラ考ヘテモ、或ハ知識ヲ廣メル品物ト云フ點カラ考ヘマシテモ、孰レノ方面カラ考ヘマシテモ此關稅ノ積リ方ハ顛倒シテ居ルト思ヒマス、是ハ何等カ趣意ノアルコト、考ヘマスカラ承デ置キタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今森田君カラ印刷料紙「ニ」乙「イ」ノ紙ノ稅率ニ付テ御問デアリマスガ、是ハ政府ノ今回ノ改正案デハ現行通り据ヘ置クト云フコトニ致シタノデアリマス、即チ百斤一圓ト云フコトニ致シマシタ、デ唯今御質問ノ中ニ御述ニナッタ通り此部類ニ這入リマスモノハ目方ノ輕イ紙デアリマシテ、新聞雜誌其他ノ用途ニ供スルモノガ之ニ多ク這入リマス、他ノ紙類ハ二割乃至三割トシタノハ如何ナル理由デアルカト云フ御問デアリマスガ、政府ノ見ルトコロデハ單純ニ紙ガ知識ノ……知識デアリマセヌ、ツマリイロノノ學術書籍ト云フヤウナモノニ使ハレテ、人文ノ發達ノ上ニ必要ナルモノデアルカラト云フ、其點モ無論政府モ全ク考ヲ持タヌデアリマセヌガ、關稅率ノ編成ノ上カラ申シマス、大體ヤハリ紙ト云フノハ「バルビ」ヲ以テ製造スルトコロノ製品デアルカラ、消費サレルトコロノ製品デアルカラ、稅ハ高低二割位ノ見當デ宜イト、唯此薄イ紙デ多ク使ハレルトコロノ紙ハデス、成ベク是ハ稅ノ輕イ方ガ宜カラウ、殊ニ是ハ御承知ノ通り三十九年ノ關稅率ノ改正ノ際ニイロノ議論ガアッテ、其上ニ漸ク決定シタル稅率デアアルデアリマス、僅ニ今日マデ兩三年ヲ經過シタルニ過ギナイモノデアリマスカラ、又之ヲ變更スルト云フコトハ相當デナカラウ、現行ノ儘ニ據置クガ相當デアラウト斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、此「イ」ハ現行通りニ據置イタノデ、其外ノ紙ニ二割ト云フヤウナモノガ掛ッタノガアリマスガ、是等ハ又一種特別ノ用途ガアル紙デアリマシテ、此用途カラ考ヘテ見テ印刷料紙ノ中ニ這入ル如キ紙ハ、一種高クシテ宜シカラウ、例ヘバ模造日本紙ノ如キ、壁紙ノ如キ製造ノ高低カラ申シテモ大分念ノ入タモノデアリマスカラ、少シク稅ヲ高クシテ宜カラウト云フ考デアリマス、要スルニ印刷料紙ハ近年ニ定タトコロノ稅率ハ、ソレハ今日變更スルノハ相當デアルマイト、斯ウ云フ考デ、是ハ據置キト致シマシタ

○森田勇次郎君 乙「イ」ヲ從前ノ儘ニ據置クト云フ事柄ハ、是ハ同感デゴザイマス、私共左様ニ思ヒマスガ、併シソレヲ土臺ニシテ外ノ紙ヲ御上ゲニナッタト云フ趣意ガ分ラヌ、「イ」ハ廣ク用井ラルカラ安クサル、外ハ紙ハ同ジ印刷用紙デモ用途ガ少ナイカラ高クスル、斯ウ云フ御趣意ノヤウニ聽取リマシタガ、先ニモ申シマス如ク第十類マデノ御説明ハモウ少シ變ツタ方面デ、常ニ御説明ニナッテ居ッテ、内地デ保護スレハ内地デ發達ノ見込ノアル品物ヲ成ベク保護ノ意味ヲ含シテ之ヲ高クスル、内地デ作ラヌサウシテ内地デ需用ノアルモノハ成ベク安イ稅率ヲ以テ十分便利ヲ與フルト聞キマシタ、是ハ左様ナケバナラヌト思ヒマス、就テハ乙「イ」ノ如キ用途ノ極メテ廣イ重量ノ薄イ側ノ方ノ紙ハ御承知ノ通り、富士製紙會社ヲ始メトシテ澤山ノ製紙工場ガアリマシテ、内地品ト輸入品トノ間ニ餘程ノ競争ヲ惹起シテ居ル位ニ製造ハ發達シテ居ル、其發達シテ居ル用途ノ

廣イ紙サへ、從前ノ通り一割ヲ据置イタル、之ニ反シテ内地ハ全ク作ラヌ、或ハ作ッテモ一分シカ作ラヌ、多クハ輸入品ヲ仰イテ居ルト云フ其類ノ品物ハ現行ノ稅率ヨリモ、況ヤ協定稅率ヨリモ極メテ之ヲ引キ上ケルト云フデケデハ、其理由ヲ發見スルコトガ出來マセヌ、乙ノ「イ」ヲ據置イタル事柄ハ能ク分リマシタ、其乙ノ「イ」ヲ據置クト云フ點カラ推シテ外ノ用途ノ狹イ、サウシテ内地デハ作ラヌト云フ紙ヲ二割ニスルト云フ御趣意ガ孰レニアルカラ承リタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 更ニ御問デアリマスガ、此印刷料紙ニ付テハ要スルニ現行ノマ、ニ據置クト云フニ外ナラヌデス、ソレデアリマスカラ他ノ紙ハ是ハ無論他ノ製品ト比例ヲ取ラニヤナラヌデス、夫故ニ二割、二割ト云フノ外ハ製品ノ割合カラ申スト、是ハサウ高イ率デハナイト思フ、唯筆記用紙ト云ヒ圖書用紙ト云ヒ、御説ノアリマス通り是等ノ品物ハ書籍トナリ、雜誌トナリ其他人文ノ開發上ニ用ヰラル、ト云フ品物デアリマスカラ、其點ヲ考ヘテ二割位ノ程度ニ止メタル譯デアリマス、デ森田君ノ御説ノ如ク筆記用紙ト五十八「グラム」ヲ超エナイ薄イモノト比ベマス、御説ノ通りニ其間鈞合ガ取レヌヤウニ見エマス、ケレドモ一方ノ稅率ハ從來據置ニスルト云フタメニ、唯今ノヤウナ二割ト百斤一圓ノモノト斯ウ云フ率ガ出タノデアリマス、其外此五十八「グラム」ハ總テ新聞ノミニ使フカト云フヤウニ御考カハ知リマセヌガ、日本デハ普通作ッテ居リマス新聞紙ノ目方ヲ計テ見マスルト云フト、多クハ五十八「グラム」ヨリ下デアリマス、五十八「グラム」ヨリモ輕イ紙ヲ使ッテ居ルヤウデアリマス、又是等ノ紙ヲ雜誌ニモ使ハレマス、唯一種特別ナル印刷物「アートペーパー」トカ云フモノハ、是ハ雜誌ニモ使ヒマスガ、是等ニ使スル原料ハサウ多イモノデナイ、普通ノ雜誌ノ如キハヤリ重量五十八「グラム」ヲ超エザルモノデ出來テ居ルヤウニ思ヒマス、是ハ特種ノ紙ノ良イ立派ナ雜誌ハ之ニ加ハラヌカモ知レマセヌガ、雜誌用ノ紙モ多クハ此中ニ入ラウト思ヒマス、大體現行據置ト云フ趣意カラ、一圓ニ止メタルト云フコトニ御承知ヲ願ヒマス

○高橋光威君 此印刷料紙ノ中「イ」ト云フ、即チ五十八「グラム」ヲ超エザルモノガ日本ノ製紙會社ノ製紙事業トシテ生産出シテ居ルカト云フト、ソレカラ其他ノ印刷料紙ハ生産出シテ居ルカト云フ生産額ヲ承リタイ、ソレカラ又此五十八「グラム」ヲ超エザルモノヲ外國ヨリ輸入スル額、竝ニ其他ノ印刷料紙ノ外國ヨリ輸入シテ來ル其高ヲ伺ヒタイノデアリマス、承ハルトコロニ依ルト云フト五十八「グラム」ヲ超エザルモノ、即チ新聞ニ主ニ用ヰテ居ルトコロノ紙ハ内地ニ於テ比較的餘計生産出シマシテ、其他ノ印刷用紙ハ其生産額頗ル少イサウデアリマス、而シテ多ク日本ニ生産出シマスルトコロノ五十八「グラム」ヲ超エザル新聞ニ用ヰル紙雖モ、ヤハリ内地ノ値段ガ少シ高クナルト云フ傾デモアレバ、直ニ米國其他アタリヨリ日本ヘ入ッテ來ルサウデアリマス、夫故内地ノ製業者ハ戰々競々トシテ是ガ防遏策ニ苦心シテ居ルサウデアリマスガ、其外國ヨリ輸入セラル、高ヲ承ハリテ、サウシテ之ニ對スル考ヲ極メナケレバナラヌノデアリマス、又印刷料紙ノ方ハ内地ノ製紙業ニ於テ格別出來ナイ、縱令出來テ見タトコロデ到底用ヰルニ足ラナイヤウナモノヲ、立派ナ印刷物若クハ稍々綺麗ニシヤウト思ヘバ、内地ノ生産物ヲ以テシテハ之ニ充ツルコトガ出來ナイト云フトデアリマスレバ、是ハ強テ高率ヲ課シテ内地ノ製紙業ヲ保護スルニ足ルモノデナイカノ如ク思ヒマスガ、然ルニ此表面ニ現ハレテ居ルトコロ

ノ事情ヲ見ルト云フト、今森田君ノ御質問ノ如ク保護スベキモノヲ保護セズシテ、保護スル必要ノナイモノニ却テ保護スルカノ如キ形ニナッテ居ル、仍テ内地ノ生産竝ニ外國ヨリ輸入スルトコロノ額ヲ承ッテ置キタイノデアアル、若シ今御手許ニナケレバ次ノ會マデニ御示ヲ願ヒタイ

○委員長(野田卯太郎君) ソレデハ如何デゴザイマスガ、今日ハ是デ……

○政府委員(大久保利武君) 今分ッテ居ルデケテ御答致シマス、唯今此印刷料紙ノ中「イ」ノ部類ニ入ル紙ガノ位入ッテ來ルカ、又ドノ位内地デ生産スルカト云フ御尋ニ對シテ御答致シマスガ、四十一年ノ調ニ依リマス、此「イ」ニ入ル紙ガ内地デハ九千七百万斤位デアッテ、輸入スル額ガ一千万斤、約十分ノ一ト云フモノハ外國カラ入ッテ居リマス、其一千萬斤ヲ金ニ直シマスと云フト、七十八萬二千五百圓ト云フモノガ外國カラ入ッテ來マス、此生産狀況ヲ簡單ニ御話申上ケレバ「イ」ニ入ルトコロノ紙ハ内地デハ王子ノ製紙會社、富士製紙會社、ソレカラ地方デ主ナルモノハ熊本ノ製紙會社是等ガ主ナル供給所ニナッテ居マス、デ此方ハ漸次發達シテ來マシテ、先ヅ輸入額ハ十分ノ一位ノ額ニ今日ハ止ッテ居ルヤウデアリマス、ソレデ今ノ稅率デモ將來發達シナイコトモナカラウト思フデ、從前通りニ據置イテ差支ナカラウト云フ狀況ニナッテ居リマス、ソレカラ「イ」ニ入ル紙ハ多少ハ内地デ出來マスケレドモ、大體輸入ヲ外國ニ仰グト云フ狀況デアッテ、四十一年ノ輸入ノ金額ヲ申上ケマスルト云フト、百七十六萬六千圓、此方ハ餘程將來製紙業ニ就テ稅率ヲ以テ保護スルト云フトヲシナイト、輸入品ニ對シテ權衡上ドウカト云フ考モアリマスノデ「イ」ニ入ル紙ハ極ク一部分シカ内地デ生産シテ居リマセヌ、大部分ハ外國カラ輸入ヲ仰イテ居リマス

○高橋光威君 内地ノ生産額ハ分リマスガ

○政府委員(大久保利武君) 内地ノ生産額ハ極ク一部分デアリマス 尙調ベテ御答致シマスガ、十分出來ル見込ミデアリマス

○小川平吉君 先刻森田君カラ尋ネラレマシタ印刷用料紙ノコトニ就テ、モウ一ツ御尋シテ置キタイト思ヒマス、是ハ森田君ハ印刷料紙ノ各種類ノ中デ比較ヲ取ッテ質問サレタノデアリマスガ、私ハ此印刷料紙ト他ノ原料紙トノ權衡ニ付テ御尋シタイト思フノデス、印刷料紙ヲ政府委員ハ先刻是ハ既ニ製品デアッテ其儘消費スルモノデアラカシテ相當ノ稅ヲ課シテ宜イト云フ御答辯デアッタト思ヒマスガ、印刷料紙ハ成程「パルプ」ヲ以テ製造シタ製品デアルト云ヘバ、製品デアルトモ言ヘマセウケレドモ、一面カラ云ヘバ原料ノ性質ヲ持ッテ居ルモノト思フ、即チ印刷料紙ハ持ッテ行ッテ印刷機械ヲ以テ印刷ト云フト加工ヲシテ、サウシテ書物ヲ拵ヘルノデアアル、而シテ此書物ト云フモノハ言フマデモナク知識ノ普及ト云フトニ最モ必要ナル一ノ物品デアアル、其書物ト云フ知識ノ普及ニ最モ必要ナルトコロノ物品ヲ製造スルトコロノ原料デアアル、成程紙ニ「パルプ」ヲ以テ拵上ゲタト云フ點カラ云ヘバ、政府委員ノ言ハル、如ク拵上ゲタ製品デアアルニ相違ナイガ、ソレハ一ノ理屈ニ過ぎナイ、其紙其物ハ其儘消費サレルノデハナイ、其紙ニ更ニ加工シテ印刷ト云フトコロノ工業ヲ加ヘテ、サウシテ書籍ト云フ最モ貴イ物品ガ出來上ルノデアアル、此點カラ見レバ一ノ原料デアアル、然ルニ原料デアアル以上ハ其他ノ原料、總テ普通ノ物品ヲ製造スル原料デモ製造ヲ獎勵スルノ趣意ヨリシテ、或ハ無稅ニスルトカ、或ハ極メ

テ低イ稅ヲ課スルト云フコトニナツテ居ル、是ハ當然ノコトデ、物品ヲ獎勵スルト云フ點カラ當然ノコトデア、普通ノ物品ヲ製造スルコトヲ獎勵スルタメニ、原料ノ稅ヲ無クスルトカ、若クハ輕クスルト云フコトナラバ、最モ貴ブベキコロノ知識ノ普及ニ必要ナル書籍ト云フ物品ヲ製造スル印刷料紙ヲ持ッテ行ッテ、現行ノ協定稅率ヨリモ高イ、倍ニ相當スルヤウナ高イ稅ヲ課スルト云フコトハ、他ノ原料品トノ權衡ヲ失ッテ居リハセヌカ、ソレトモ政府ニ於テ學術知識ノ普及ト云フコトハ、普通ノ物品ノ製造ヨリモ輕イモノト觀テ居ラレルノデアルカ、知識ノ普及ト云フコトハ物品ノ製造ヲ獎勵スル程必要ナモノデハナイ輕イモノデア、故ニ知識ノ普及ニ必要ナル書籍ノ原料ノ紙ニ付テハ斯ノ如キ稅ヲ課シテモ宜イト云フ御意見ナラバツレデモ宜イ、若シサウデナク吾々ノ普通解釋スル如ク物品ノ製造ヨリモ貴ブベキ書籍ヲ持ッテ原料ノ紙デア、少クモ外ノ物品ノ製造ヲ保護スルト同等ニ保護シナケレバナラヌト云フコトナラバ、何故ニ他ノ稅ハ無稅若クハ輕クスルニ拘ラズ、書籍ノ原料タル印刷料紙ト云フモノニ重キ稅ヲ課スルノデアルカ、學術ト物品ト孰レカ輕キヤ、孰レカ重キヤト云フ點デモ伺ヒタイと思ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今小川君ノ御論旨ニハ吾々モ決シテ違ッテ居ラヌ積リデアリマス、少シク私ノ言葉ガ足ラナカッタデ御質問ガ起ッタイ思ヒマス、御說ノ通りニ紙ハ其儘使フコトモアリマスケレドモ、印刷料紙ノ如キハ元ヨリ印刷スルモノデアリマス、印刷カラ言ヘバ原料デアリマス、御說ノ通りデアリマス、故ニ原料ハ此稅率大體ノ趣意カラ申シテ原料ニハ成ルベク低稅ヲ課ス、物ノ性質ニ依ッテハ無稅トスルト云フコトハ、是マデ度々說明シテ來タ通りデアリマスノデ、紙モヤハリ同ジ様ニ考ヘテ居リマス「バルブ」ト較ベテ見レバ紙ハ製品デア、併ナガラ之ヲ以テ印刷物ヲ造ルト云フ方デ考ヘレバ、紙ハ原料デアルト云フデアリマスガ、茲ニ一ツ考ヘナケレバナラヌコトハ、人文知識ノ開發ニ必要ナル本トカ、雜誌トカ、新聞トカニ使フモノデアリマス、又一方ニハ其印刷業ト云フモノガ内地ニ既ニ成立ッテ居ルデアリマスカラ、此工業モ全ク度外視スル譯ニハ行カナイ、ソコデ私ノ申シタノハ、單純ニ紙ヲ消費品デアルト斯ウ見レバ、一割ヨリモモット高クテ然ルベキモノデアラウ、然ルニ之ヲ一割位ノ程度ニ止メマシタノハ、小川君ノ御質問ノ中ニアルヤウナ書籍トナリ、イロ／＼ナ印刷物トナル原料的ノモノデアルカラ、内地ノ製造工業トノ權衡ヲ見テ、サウシテ一割位ノ程度ニ止メタト云フ譯デアリマス、前回ノ說明ハ少シ言葉ガ足ラナカッタメニ御質問ガ出タイと思ヒマス

○鷺田土三郎君 此三百八十六ノ寫真用「巴拉イタペーパー」之ニ付テ少シ御尋致シマス此「巴拉イタペーパー」改正案ニ依リマスト十九圓三十錢三ナツテ居ル、ソレカラ此四ノ「ビーオービー」ト云フモノハ八十圓五十錢デ「巴拉イタペーパー」方ハ現行法ニ依リマスト一割デゴザイマスカラ二圓五十錢、「ビーオービー」ハ現行法ハ六十九圓七十錢デ、ソレガ改正案デハ八十圓五十錢トナツテ居ル、此「ビーオービー」ト云フモノハ「巴拉イタペーパー」原料トシテ造ルデアリマスガ、日本デ近來追々發達シテ來マシテ大分出來ルヤウニナリマシタ、是ハ是迄ノ輸入表デ見マスト七八十萬圓ノモノガ這入ッテ來マス、是非トモ内地ノ産業發達ノ上カラ見テモ「巴拉イタペーパー」ヲ獎勵シナケレバナラヌ、此原料ニハ成ルタケ低率ヲ課スルト云フコトハ始終承ッテ居ルニモ拘ラズ、斯ウ云フヤウナ譯ニナツテ居ルノハ如何ナモノデアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 寫真用紙ノ御質問デアリマスガ「巴拉イタペーパー」ニ加工シテ「ビーオービー」ガ出來ルト云フデアリマシテ、此「ビーオービー」ニ對シテ云ヘバ原料ニナリマス、サウ云フ關係ヲ以テ此處ニハ一割ト云フ低イ稅ヲ課シテ居リマス、四ノ「ビーオービー」ガ下ツタト云フ風ニ御覽デアリマスガ、是ハ四割ハ動カサヌノデアッタ、唯其近年ノ輸入ノ統計ノ價格ノ平均カラ斯ウ云フ風ニ少シク下ッテ出タイ過ギマセヌ、別ニ率ヲ上ゲタ意味デハナイノデアリマス、即チ二割ト四割ノ關係デアッテ、原料ト製品トノ關係ハ此位ニ見テ相當デアラウト云フ考デアリマス

○鷺田土三郎君 茲ニ現在ノ「巴拉イタペーパー」ガ一割三圓五十錢、精製シマシタコロノモノガ六十九圓七十錢ト云フデアリマスカラ、唯今日日本デ製造シテ居ルノハ英國杯カラ輸入シマストコロノ製品ニ對シテ競争ガ出來ルノデアリマスガ、若シ此改正案ニ依リマスト精製品ノ方ハ稅率ガ廉クナリマシテ、原料ハ六倍カラニ上ッテ來マスガ、斯ウ云フヤウナコトニナリマス、ツマリ内地デハ「ビーオービー」ヲ製造スルコトガ出來ナクナリテ自滅スル外ナイノデアリマス、決シテ産業ノ發達ト云フ譯ニ行キマセヌ

○委員長(野田卯太郎君) モウ止メテハドウデスカ、十一號ノ一類ノ質問ハモウ濟シタモノト致シマス「保留シテ」ト呼フ者アリ「保留シテ」止メテ置キマス、ソレカラチヨット御報告シマス、此牛ノ皮ヲ無稅ニシロト云フ意見書ガ出テ來マシタカラ御報告シテ置キマス、今日ハ是デ閉會シマス、又明後日午前十時カラ開キマス

午後三時一分散會